MAY 6, 1922. NO. 8078 The Japanese American News 大正十一年五月六日（土） 第八千七十八號
Published and distributed under Permit (No. 173) authorized by the Act of October 6, 1917, on file at the Post Office of San Francisco, California. By order of the President: A. S. Burleson, Postmaster General.

日米

THE JAPANESE AMERICAN
PUBLISHED DAILY AT 580 ELLIS STREET, SAN FRANCISCO, CALIFORNIA. PHONE PROSPECT 338
SUBSCRIPTION RATES IN ADVANCE
DAILY......ONE YEAR......$11.00
DAILY......SIX MONTHS......5.00
DAILY......ONE MONTH......1.00
SINGLE COPIES......5 CENTS
BRANCHES
DENVER, FRESNO, LOS ANGELES, NEW YORK, OAKLAND, OGDEN, PORTLAND, SACRAMENTO, STOCKTON, SAN JOSE, SALT LAKE, SEATTLE, VACAVILLE, WATSONVILLE

差別撤廢
移民非移民の差別は憲法違反也

桑港クロニクル紙は矢野事件の判決に對して引續き愚痴を並べて居るが、其云ふ所は益々出でゝ益々笑止である。同紙記者は日本人に餘程敬意を表したつもりであるが、所謂日本人勞働者と教養ある日本人とを明確に區別して指摘して居る。併し此不自然なる而かも不都合なる區別そのものに排日問題の凡べての禍根が存して居ることを知らねばならぬ。人も知る如く日本民族は人種學上幾多の異なれる祖先を有して居るが、二十餘世紀の長い年月の間に全く融合されて今日では米國人なぞよりも遙か渾一された民族となつて居るのであるから、所謂教養ある日本人と勞働者との間に人種的差別は全然認められないのである。又明治維新前までは士農工商と云ふやうな社會的階級の差別が存在して居た。併し社會的特權の最も嚴格に守られた德川時代に於てすら「金上げ士」と云ふものがあつて、階級的差別は自然に打破されつゝあつた。況んや御維新後四民平等の世となつてからは日本の社會に階級差別は全く存在しないのである。換言すれば水呑百姓の子も大臣宰相になれるのが今日の社會制度なのである。して見れば所謂教養ある日本人と勞働者との間に何等人種的差別もなく、又階級的差別もなく、兩者は根本的に同一のものであることは一目瞭然であつて、強ゐて此差別を立てんとするは疑も無く帝國憲法の眼目たる四民平等の精神に反するものであり、同時に年一年と平民化して行く日本の社會組織を無視したものと云はねばならぬ。併し乍ら吾人は日本の歷史を知らず又日本の社會制度を知らぬ米國人が如何に不都合な差別を立てた所で強ゐて咎めやうとはしない。夫れよりも不都合千萬なのは米國人の此誤まれる解釋を唯々諾々として受け入れ恰も斯くの如き階級的差別、否甚しきに至つては人種的差別が現存するかの如く自ら認め又人にも吹聽する日本の有識有產階級である。吾人が常に力說する如く等しく日本臣民であり乍ら、而して精神上肉體上何等の缺陷をも有するに非ずして甲は米國に渡航し得、乙は渡航し得ずと云ふは誠に不思議千万な話である。否不思議と云ふ許りでは濟まされない。詮じ詰めれば帝國憲法を無視した規定であらねばならぬ。從つて斯くの如き要求を米國が敢てしたならば、日本の外務當局としては斷然是れを峻拒して帝國臣民の權利を擁護すべきであるに拘らず、逆に自發的に是れを行ふことを誓約した紳士協約を結ぶと云ふに至つては、單なる外交上の失敗として咎むべきに止らず、明かに是れ憲法違反であることを覺らねばならぬ。而して太平洋沿岸地方の在留同胞を認めて一種の特殊部落民となす慣習は單に霞が關を中心とする官僚許りではない。母國の有識有產階級の全部が卽ち夫れである。斯くの如くにして彼等は外務當局から「非移民」の尊號を頂戴して得意となり、米國人から「日本紳士」若くは「教養ある日本人」の名を以て呼ばれて喜んで居るが、實に憫むべき話であつて、彼等は我等同胞が憲法上（日本人としての）の權利を侵害されて居ることも恰も自巳の榮譽あるかの如く考へて居るのだ。凡り日本人位權利義務の觀念を缺いて居るものはない。假りに日本が米國人に紳士階級と苦力階級の存することを認めて差別的待遇を迫るが如きことがあつたら奈何であらう。勞働者が怒るのは無論のこと所謂有識有產階級も斷じて是れを默視しないであらう。何となれば勞働者も紳士も米國市民たることに何等の相違はないからである。悲しい哉日本人には是れだけの權利思想が發達して居ない。米國人や英國人が馬鹿にするのも當然である。思ふに日米兩國政府は遠からぬ中に紳士協約に代るべき或る種の移民協約を結ぶことであらう。吾人は其際所謂「非移民」と「移民」との差別問題で日本に一大民衆運動の起らんことを希望する。此問題は斷じて外交問題では無く明かに日本憲法上の重大問題である。吾人は豫じめ外務當局に警告する。加州の立法部が排日法を作ると否とは米國憲法上の問題であるから我等在留同胞が自力で解決する。併し日本政府が自ら「移民」「非移民」の差別をつけるやうなことをやれば我等は帝國憲法上の權利を楯にして斷じて屈服しない。而して我等の背後には諸卿が以つて「移民」なりとなす數千萬の日本民衆が存在することを銘記せよ（春舟郎）

本社東京特電（五月五日午前七時着）

●秦皇島に軍艦急派 ▽隣邦戰局の重大に鑑み

支那の戰局に鑑み帝國政府は五日二等巡洋艦筑摩（四九五〇噸）を秦皇島に向け急航せしめたり

●淺野造船所副社長等辭職

株式會社淺野造船所は事業界不振の結果過日閉鎖したるが副社長深田氏以下の重役は辭職したり

●長野縣飯田町空前の大火

長野縣飯田町に四日大火あり劇場、銀行、新聞社等の大建築を始め燒失家屋數百戶に上り同地目貫の場所は大半烏有に歸したり

●年限短縮の陸縮二千萬圓

現在の陸軍現役年數を一年十ケ月に短縮する事に依り陸軍縮小を實行するならば直ちに一ケ年二千萬圓を節約し得べしと其筋より調査發表されたり

極東關係電報（五月五日聯台通信）

●吳佩孚軍北京入城 ▽奉天軍大敗潰走す

五日正午に至り支那の首都北京は全く長江巡閲使吳佩孚將軍の手中に歸し昨日北京南方長辛店附近の激戰に於て將軍麾下の直隸軍の爲めに擊破されたる東三省巡閲使張作霖將軍の率ゆる奉天軍は天津方面に向つて潰走中なり

▲猛擊十五時間に亘り繼續

吳佩孚軍は五萬の大兵を以て張作霖軍を北京の南方に於て包圍し十五時間に亘り間斷なき砲擊機關銃隊の猛射歩兵部隊の突擊とに依り敵軍を擊破し遂に北京の主人公たるに至れり

▲奉天軍々器を遺棄潰走す

張作霖軍の總退却に依り戰闘は一時終熄したるが戰跡には死傷者累々算を亂して橫はり光景慘澹たるが昨日の戰に於ける兩軍の死傷は五千乃至七千に達すべしと尙は奉天軍は野砲彈藥馬匹軍需品を積める駱駝等の多數を戰場に遺棄し奔竄せり（以上北京發）

●京奉鐵道破壞妨止 ▽日英米三國公使活躍

五日上海支那申報の北京來電に依れば北京駐劄の英米日三國公使は各自國の在支艦隊司令官に對し吳佩孚將軍に味方せる支那軍艦が太沽及び山海關に於て京奉鐵道を砲擊破壞せんとする場合には之を阻止すべく旨訓令を發したりと

▲北京外交團外交部に警告

北京外交團の首席公使たる葡萄牙公使は支那外交部に對し最近ルキユチオに於ける戰闘は千九百一年の天津議定書に違反するを指摘し同議定書の條項を嚴守せん事を要求せり（上海發）

●支那內亂と駐米支那公使 ▽過渡期不可避の現象と說く

華府駐劄の支那公使施肇基氏は今回の奉直兩軍の衝突を以て王國より共和國へ變移せる支那過渡期に於ける避く可からざる現象なり予は今回の內亂が何時迄續くや否やを知らず然れ共兩派衝突の原因は全く內政上の理由に基き何れも外國人の生命財產には何等干涉せざる態度を持し居れり予は在支外人が兩派の何れをも援けず全然中立の態度を維持する限り此態度は依然變更されざる可しと云々（華府發）

●吳佩孚將軍政府と交涉中 ▽戰勝將軍近く北京に入らん

吳將軍は北京南方に奉天軍を擊破せる後部下將校を北京城中に使はし今後の方針に就き政府當局者と交涉せしめつゝあり該將校等の言に依れば吳將軍は近く北京に入城すべしと

▲直隸軍今次大勝の殊勳者

直隸軍が奉天軍を破りて大勝を博せるに就て吳將軍は其の功を部下の馮將軍に歸し居れり同將軍は基督教信者の軍人として有名なるが今回の戰爭に於ける直隸軍の作戰は主として同將軍の方針より出でたるなりと又吳佩孚將軍は張作霖將軍が奉天に逃げ込む迄は追擊を中止せざる可しと揚言し居れり

▲戰勝軍北京城外に露營す

直隸派の戰勝軍は昨四日北京城門外に露營し敗北せる奉天軍の主力は鐵道沿線を天津方面に向け退却したるが其一部は全く隊形を亂して附近丘陵の彼方に遁逃せり

▲北京の鐵道交通全く杜絕

戰闘は五日早朝以來全く終熄したるが北京と各方面への鐵道交通は全く杜絕したり

▲北京城中の米人慄へ上る

北京城內米國人の多數居住し居る區域と僅かに城壁を隔てゝ城外に露營したる吳軍の一隊は夜に入り城門を突破し內部に亂入せんと試みたるが城壁上に於ける護衞兵機關銃を以て之を擊退し幸に事なきを得たり（北京發）

●米國陸戰隊太沽に上陸す

五日米國巡洋艦ヒユロン號より陸戰隊百五十名太沽に上陸したり右は同方面の米國人の生命財產保護の爲めなり（華府發）

歐洲新情勢電報（五月五日聯台通信）

●問題の米人ゼノアに出現 ▽勘索加利權のヴアンダリツプ

一昨年過激派政府よりカムチヤツカ半島一帶に於ける鑛山採掘並に漁業に關する利權を獲得したりとて世界を驚かしたる米國資本家ワシントン・ビーグ・アンダリツプ氏は何時の間にやらゼノアに現はれ盛に暗中飛躍を試み居れるが露國石油利權問題の大評判となれる今日故同氏の行動は一般に注視され居れり

▲勞農通商大臣と頻繁往復

勞農政府の通商大臣クラツシン氏は右に就き自分は五日ヴアンダリツプ氏と午餐を共にしたるが右は單に友人としての交際に過ぎざるも世間に吹聽さるゝ利權問題に關してはヴアンダリツプ氏との間に交涉進行中なりとも亦今後何等か右に就て交涉さるべしとも明答する能はずと述べたり（ゼノア發）

●經濟會議着々進捗 ▽經濟小委員會審查終了

經濟會議は五日を以て財政經濟及び運輸に關する審議を終了し同小委員會は全委員會に審查の結果を報告する筈なるが多分同委員會の承諾を得べしと期待さる

▲對獨對露問題は樂觀さる

對露問題及び例の非侵略的協約は英國首相ロイド・ジョージ氏の手腕を更に大に必要としつゝあるが一般の觀測は大した困難なく解決さるべしといふに一致し居れり

▲英國首相依然大に活動す

佛國全權バルトウ氏は巴里より歸還の後英首相ロイド・ジョージ氏の斡旋に依り獨逸全權との會議に參加すべしと尙は英首相は昨四日獨逸首相ウイルト外相ラテノウ二氏と會見對獨非侵略的協約並びに五月卅一日を期限とする獨逸賠償金問題に就き協議せりと（ゼネヴア發）

●レニン衰弱

勞農政府の首相レニン氏が遂にゼノア會議に來らざるは神經衰弱不眠症に惱まされつゝある結果なりと當地に在る勞農政府全權は首相の病氣左程危篤なりとは認め居らざるも主治醫はレニン首相が過勞の結果退職の餘儀なきに至る可しと述べたりとの說は當地にて事實として傳へられ居れり（ゼノア發）

●張將軍の時局談

東三省巡閲使張作霖將軍は支那新聞記者を引見左の如き時局談を試みたりと「予の目的は支那の統一に在り中華國民の戰亂に惱むや久し故に予は吳將軍曹琨將軍と平和的解決に一致せし事を切望せり蓋し三者の協力は南方政府を速かに壓伏し得べきを以てなり併かも兩氏共予を大に失望せしめたり予は舊國會を解散し新たに選擧されたる新國會を召集し強固なる中央政府の樹立を切望す」云々（上海發）

●英帝皇后御訪白

英帝及び皇后陛下は昨年の白耳義兩陛下の御訪英答禮の爲め五月八日ブラッセルを御訪問の筈（ブラッセル發）

●比嶋公債案通過

米國下院は比律賓政府の公債發行限度を三千萬弗より七千五百万弗に增加する法案を可決五日上院に回附せり（華府發）

●在佛勞農間諜團

巴里警察署は五日三名の重大犯人を檢擧したるが右は露國勞農政府の手足となり佛國內に活動せる間諜團に屬する者にて近く一網打盡的に餘類を狩り盡す筈なりと（巴里發）

●結婚御祝品拜觀

英國皇女メリー內親王御慶事に就き各方面より献上せる御祝品は非常なる多數に上りたるが右は一般の希望によりセント・ゼームス宮にて公衆に觀覽せしめたる處入場者多數にて入場料は五万弗に達したり尙は右金額は其れ〴〵各慈善團體に寄附されたりと（倫敦發）

◆歷史湮滅の嘆（三十）
＝二十年前土地所有者＝ フロリンが第一
尺魔

◎今から二十年前には日本人社會公共の機關が整備して居らぬ同胞發展の狀態に關し一個の統計も無かつた。桑港駐在領事上野季三郎、明治三十四年二月九日着任、翌三十五年十月九日桑港出發、日本人狀態視察の爲め加州を一巡した。私は此時領事の案內役として同行した。

◎先づ道をバカビルに採つた。それからサクラメント、フロリン、河下地方、山麓地方を視察してフレスノに出で、南加に到り沿岸を通つて歸桑した。此旅行十五日間であつた。

◎帝國領事が加州地方の日本人の狀態を視察するために旅行したのは此行が始めてゞ、專ら農業方面の視察研究を目的とした。

◎各地農業家を訪問して、借地契約反別、種類、土地所有者、地方別人名等を調査したが、地方篤志家諸君の贊助を得て二ケ月程で大體の統計が出來た。私は領事官邸に立籠つて之れを整理した。

◎其記錄の全部が燒け殘つてゐる。借地の方は煩はしいから書かぬが、土地所有者だけを左に揭げて見る。

（明治三十五年十一月調）

地名	英加數	姓名
サクラメント郡		
フロリン村	四〇	巽榮治郎
同	八〇	松田及山田組
同	八〇	小柳平吉
同	八〇	西本滿之助
同	一三〇	田中新太郎
同	三六	橫井新左衛門
同	三〇	石川組
同	四〇	天野才兵衛
同	八〇	石垣健三郎
同	二六	田中組
同	四〇	中村組
同	四〇	池田組
同郡エルクグローブ	四〇	隅田寶一
フレスノ郡フレスノ	四〇	川野才吉
同	四〇	毛利宇一
同	四〇	前田寅吉
ロースアンゼルス郡ロースアンゼルス	一五	平泉小三郎
同	五	池百松
サンタクララ郡サンノセ	宅地	田中鶴吉
サクラメント市	宅地	櫻府佛教會
モントリー郡サリナス	五	北與三松
サンマテオ郡サンマテオ	八	竹山祐嗣
アラメダ郡フルツベル	三五	堂本譽之進
オークランド市	四	岡上兄弟
サンフランシスコ郡エンゼルサイド	三	木村兄弟

（合計九百七英加）

◎前表の內土地總代價を支拂ひたる者と、年賦にて支拂ふ契約の二種あり、農業地はすべて年賦拂の契約であつた。

◎右土地所有者の現はれしは明治三十三年以後の事にして、該調査の二年前であつた。

◎右の外日本人にして他州に土地を有せるものは田中鶴吉がネバダ州に三百英町の山林地を買收せるのみであつた。

◎此當時フロリンは日本人の注目地として有名なもので草苺耕作の絕頂時代であつた。葡萄耕作者は稀れであつて、苺畑の中に葡萄を植始めたのが武田久治郎等であつたが、其產額は微々たるものである。

◎明治三十五年十一月の調査によるとフロリン葡耕作者は合計六十二組其耕作反別千三百四十一英加、それに三十五年十二月から翌年二月までにフロリンに移住せる者十五組に及び戶數九十三、日本人人口三百五十八人であつた。

◎ローズアンゼルス郡は其頃農業として見るべきものはトロピコの苺のみであつた。明治三十六年三月二十五日私（尺魔）が同地を視察した時、日本人にて宮川豐八、三原茂數兩氏共同にて十八英加の苺園があつた。兩氏は三年前に始めて此地に耕作を開始したことを話された。

◎其他トロピコには旭屋組が三英加半と他に一名の小作業者があつたが名は忘れた。其頃トロピコ全體で二百英加の苺畑があつたのみだ。

◎然るに大正七年（千九百十八年）の調査によると、

區分	戶數	圖數	面積
フロリン土地所有者	二〇七	七六	土地所有面積 一、七八〇
フロリン借地		一三一	借地面積 三、六二七
フレスノ土地所有者	六八五	一三八	土地所有面積 六、二三九
フレスノ借地		四四七	借地 二二、五四六
南加州土地所有者	三五〇		土地所有面積 二、九五〇
南加借地		二、二六六	借地面積 八一、六五〇

THE YOKOHAMA SPECIE BANK, LTD.
415-429 Sansome St., San Francisco, Calif.
P. O. Box 3125 Tel. Kearny 1396
橫濱正金銀行桑港支店
資本金一億圓 積立金六千一百萬圓
資產總額九億九千六百萬圓
外國爲替預金貸付割引等一般銀行業務一切
鄉里送金 日本全國何レノ地ヘモ無手數料 最近便ニテ發送
本店預金 通知 日步一錢二厘 定期 六ヶ月以上三ヶ年迄 特別 利息年六分 十ヶ年迄（重利）
支店預金 定期 六ヶ月年五分 一ヶ年年四分 保證（無利息）

大正最新 書翰文大全 二、八〇
口語の手紙 一、八〇
手紙の泉 二、二〇
商業書翰文 三、四〇
現代女子作文 一、五〇
今井柏浦著 鈴木友吉著 佐々木壬潮 千早正寛著 內山舜著
青木大成堂 1601 Geary St. Tel. West 5361 San Francisco, Cal.

羅府 東洋滊船、大阪商船切符代理店 各室、湯、水、スチーム、ヒーター等最新設備完全
イーグルホテル HOTEL EAGLE 129½ E. First St., L. A. Calif. (電話一五一五九)

羅府 食堂、自動昇降機、スチーム、ヒーター等最新設備
ホテル ニユーヨーク Hotel New York 305 E. 2nd St., L. A. Calif. (電話一二八八七)

みかどホテル 331 E. First St., Los Angeles, Cal. 日本行滊船切符取扱（電話）一一七〇四

羅府東第一街三三一半 日本行滊船切符販賣
帝國ホテル ガーフイルド 二三八一

日本行滊船切符御申込に應ず 日本御料理
小川ホテル 桑港パイン街五五一 551 Pine St., S. F. Cal. 桑港カリホルニア街六一二 電話カーネー一八一六

英語熟達ノート 東俊造著 ▼何時からでも初められる簡便なる日記体の英語熟達法 ▼多數へる書物讀んで試めして御覧なさい（定價六十五仙）
人體解剖と兩性研究 澤田順次郎著 ▼男から見た女は一つの謎、女から見た男も亦一つの謎である ▼謎を謎の研究を判り易く發表したのが本書です（一弗八十仙）
近代劇集「狼火」 林久男著 ▼近代劇短篇集を選めて譯し得たものが本書です ▼原文に忠實且つ流麗なる譯文驚異に値します（三弗八十仙）
一日一善 新渡戶博士著 ▼その日〳〵に適切な格言三百六十五日分を載してあります ▼簡單の中に要領を得て興味盡きず（定價八十仙）
平面幾何學通解 數學會編纂 ▼分り易い幾何學問題通解書として新に刊行されたものです ▼ハイスクール學生諸君には無二の參考書と思ひます（三弗）
北米の五車堂 Tel. West 5488 1698 Post St., S. F. Calif.

THE SUMITOMO BANK, LTD. (COMMERCIAL)
315-319 California St., San Francisco Calif. Tel. Sutter 196
株式會社住友銀行 桑港支店 桑港カリホルニア街三一五－三一九
一本國特別定期預金（利息目下年六分）
最初預入後一ヶ年として預入れ致し期限に制引なき時は更に一ヶ年繼續の預け入れのものとして當方にては利息を元金に繰入れ其の日に於ける當行所定の定期預金利率に依り利息を附け以て十年間は毎年之を繼續しますから、毎年時々の手數もなく複利で御便利であります。

CAL. STATE LIBRARY, SACRAMENTO, CAL.

◆兩國皇太子殿下 轡を駢べて御閲兵

空には飛行機十九臺の分列式 莊嚴を極めた大觀兵式

大觀兵式台臨の爲め赤坂離宮に英皇儲殿下を御誘ひ遊ばされた攝政宮殿下には午前十時宮廷自動車に御二方御同乘で代々木練兵場に御着になつた

金繍御紋章附の天幕內に外國武官、使臣、親任官、川村元帥等に賜謁があつて直に紫緞子から御起立遊ばさると『氣を付け』の號令が中島近衞師團長の口から一下練兵場に圓形の隊列を成せる近衞師團一万の軍隊一齊に整然とした咳一ッ聞わぬ嚴肅な氣分の裡に

▲攝政宮殿下 先づ駿馬栗毛の『山吹』に勇躍して御乘りあれば英皇儲殿下亦輕やかに御料馬『豐駒』に跨り給ふ、忽ち近衞軍樂隊が奏する「我が尊き王よ御命長かれ」の英國國歌が流るゝ如く爽やかな君が代の喇叭の音と美しい旋律を作つて響き渡つた、壬生侍從武官一揖して御先導を承はれば英皇儲は左に攝政宮は右に兩殿下轡を駢べて戛々と睦まじく馬の背を寄せつゝ進まれた

▲世界大戰に 雷名を謳はれたウッド・ロー少將は微笑を泛べながら奈良武官長と共に兩殿下の直ぐ後に御附添ひする、伏見大宮、梨本宮、李王世子の各殿下にも扈從せられた、一萬の軍隊は微動だにせず肅然として敬意を表してゐる、この光榮ある御閲兵中空には所澤より十九臺の飛行機が高く低く翼を連ねて分列式を行ひ敬意を表した雄大な武藏野を背景に英皇儲の我が名譽陸軍大將の通常禮裝の御姿と陸軍少佐の通常禮裝の攝政宮殿下の御姿とは誠に仰ぐも尊き極みであつた、御閲兵終つて御座所前にて乘馬の儘分列式を覽はせられ皇儲殿下には將官の禮に對しては殊更に馬の手綱をしかと引かれて擧手の禮を遊ばされた、朝風に薫る騎兵の赤白旗が美しくゆらぐのを最後として午前十一時全くこの莊嚴なる式は終つた兩殿下は馬上の儘御握手あつて再び宮廷自動車に移らせられ諸員奉送の裡に兩殿下共御機嫌麗しく還啓遊ばされた

◎古式の相撲台覽

德川公邸の午餐

た誂へ向の日本晴の春風受けて代々木の原に我が三軍の武を覽はした英國皇太子殿下はコンモりした新緑の若葉に圍まれた郊外千駄ケ谷の德川公爵邸の午餐に鴛を枉られた

▲將軍樣の公 爵も今日の榮めた歡待に出つ入りつ、お心忙しい氣で『殿樣は何所にござるやら』と家令室にも紋服の姿に持場の固めを頑張るのも御愛嬌だ、日英交叉の大旗は磨き上げた花岩石の大門にノンビリと垂れて居る、春の暖かな陽光が南の庭にポカつく、午後一時英國

▲皇儲殿下に は珍田伯と御同乘あらせられ自動車にて御着きになつた、ハルセー大夫、ウフトロフ少將、デヴイフトソン大佐、マウントバートン大佐等扈從す、德川公爵は直に殿下を櫻の間へ御案內申上げる、其室には御先着の東伏見宮殿下が御待兼で同殿下と暫時御物語があつた

櫻の間には楣間に「儉家風」の伏見宮貞愛親王殿下御筆の額が揭げられ玉堂の富士の繪室隅の飾棚には御大典當時御下賜の銀製花梗子の花一對、マンデルヒーズに御下賜の金蒔御紋章象嵌の青銅花瓶一將が置かれた許り清楚な一室である

軈て次の間食堂の準備が出來て主人公爵は皇儲殿下を御案內して卓中央の御席に椅子を勸め東伏見宮殿下が御正面以下順次二十四名東洋軒の料理に午餐會が開かれた、二十四脚の革張の椅子には悉く三葉葵の紋を打つてナフキンにも亦葵の繡を散らしてあつた、御機嫌麗しく御歡談の程よく濟んで午後一時半から食堂南に面した餘興の相撲を台覽の爲め庭に出られた

英皇儲殿下の御椅子の右には東伏見殿下、此時御着になつた同妃殿下の正面御三方、鷹司公爵夫人綾子、珍田伯夫人、達孝伯夫人、[illegible]侯夫人、[illegible]男夫人、賴貞氏夫人、其他夫人の裙模樣美しく

殿下の左右に陪覽の榮を得た廣い芝生の片寄には國技館から運んだ本物の四本柱、本場所其儘の飾りに仕組み東西の控力士の席には青竹の垣に古式に則る勝力士の戴く櫻と菊の花束が香うて芝居の舞臺を見るやうな面白さ、相撲は協會から春日野年寄が率ゐて幕內力士十三名先づ御前に敬禮して引下り古式相撲言上、木村庄之助麻裃の古風行司姿に言上が終つて先づ土俵には橫綱大錦の片屋入、次で橫綱栃木山の片屋入に四股踏んで謹み勸める、皇儲殿下は此の逞しき肉體美に感動されたやうに東伏見宮殿下や德川公を顧みて莽りに笑顏の御機嫌好く左記六番の取組を始終熱心に御覽あつた

伊吹山 — 出羽嶽
矢筈山 — 清瀨川
大[illegible] — 若葉山
大門岩 — 千葉崎
常花 — 源氏山
大錦 — 栃木山

これが濟むと大錦が清瀨川、大戸平に稽古、朽木山が大の里、紅葉川の稽古があり殿下は『珍らしい面白いものだ』と仰せられ德川公も晴々しい顏に御歸館を御送り申上げた

●眞宗各寺の暗闘

親鸞舊蹟の復興請願より

明年は親鸞上人開宗七百年に當たるので京都の本山では五月中旬全國から同宗の代表者を集め協議會を開き記念事業その他を議する筈であるが眞宗

▲發祥の 地である茨城縣卅六ケ寺を中心として關東一府六縣の上人舊蹟寺院が協議の結果關東教團を組織し各寺住職の名を以て『荒廢せる寺院を復興する爲東都をいだける關東教學の現在及び將來に關し特別の詮議を乞ふ』意味の

▲請願書 に實行案として(一)東京に傳道會館建設のこと(二)東京に專修學院(住職養成)を建設すること(三)上人御舊蹟の復興を課せられたきこととして栃木縣鹿沼町光明寺住職阿部惠水師のもとへ提出し月餘教團代表者として栃木縣鹿沼町光明寺住職爲郷世淳東京近藤準の兩氏を出席せしめ極力三ケ條の實行につとめる筈だが各府縣には舊蹟地以外の同宗寺院もたほく特に請願案の

▲第三條 に對して反對を唱へ秘密裡に打ちこわし策を講じ暗闘が擴大する樣子である

◇大正八年櫻府に兩親を亡した兩兒を

―外祖父と叔母とが爭ふ―

亡父森房は十數年前の渡米者

廣島縣加茂郡中黑瀨村字津江森房米太郎は十數年前から出稼のため渡米し加州サクラメントで妻むきを郷里から迎へ一生懸命に働くうち長男正雄(十一)を翌年長女はる(一〇)を續いて多市(七)重任(四つ)の都合四人の子供を儲けたので大正六年正雄、はるの二人の子供に二千圓の金をつけて

▲郷里へ送り 返して自分は引つゞき働いてゐたところ大正八年一月十五日死亡し妻むきも間もなくその後を追ひ四人の子供は二人は米國に二人は廣島縣に別れ／＼となつた、そして正雄と、はるは米太郎の妹で大阪府西成郡粉濱村西濱次郎內縁の妻森房りよう(四四)方に引取られ現在も養育を受けてゐる、玆に正雄等の母あきの實母を妻とせる

▲廣島縣加茂 郡中黑瀨村佐藤龜雄と云ふ老人は正雄が歸朝した當座養育してゐた關係もあり正雄等の後見人となつてゐるからとて西濱次郎と森房りようの兩名に對して正雄、はるの二幼兒を引渡せとの訴へを大阪地方裁判所に提起した

▲原告 の言分によると正雄はるは其亡父から養育を託され次で兩兒の後見人に就任した正雄は學齡に達したので大正七年四月一日から學校に通學せしめてゐた折柄、大正八年六月被告ははるを勝手に大阪へ連れ出し十二月に正雄も連れ歸つた、原告は後見人として當然兩兒を引取り監督教育する責任あり事實兩兒の外祖父たる關係上幼兒の監督教育は後見人の權限に屬するから二幼兒を引渡せと主張した

▲被告 側では正雄が大正八年原告側に滯在してゐた時に原告は非道の取扱をしたのみならず原告の一子太郎は不良少年で正雄等がその感化を受けるので當時親族一同協議の上親族一人に引取らしめ教育さすことに決したが僻地で教育上にも面白くないからこれを變更して被告方に引取り今は當人等はよく慣れ學校の成績もよく兄妹共に圓滿に暮してゐる、それにはるは被告りようが養女に貰ひ受ける約束もあつた、原告は後見人と云ふが親族中に同人を後見人にしたことは認めない原告に誠意があらば被告に對して悅んで謝禮を述ぶべきで訴訟を起すなど好意のない事實を裏審するものである、二兒引渡しには應せられぬと抗辯した結果は齊藤裁判長の係りでその結果は原告の敗訴となつた

桑港市場＝農產物

五月五日……金曜日

スコワシ多量出荷 ▲苺も殖ゆ

▲トメトー強氣 既報墨國產トメトー終期に近づき出荷減少し市價强氣となれり

▲苺保合 本日五百チェスト三十六クレート出荷したり暑氣の加はるに伴ひ發育旺盛となり更に出荷殖ゆれんたゞ一つ出荷者の注意を要することは餘りに出荷を急ぎ未熟品や品質の不良ものを出荷したり又パッキングに不正手段を用ひざるやう心掛けられたし桑港王府兩市場に於て二日に亘り此種檢擧騷ぎあり出荷者の立場となつて見れば同情すべき點もあらうが斯く事故頻出するに於ては同胞の對面に關することで今後大に警戒を要す

▲出荷分量 本日アスパラガス二千六百三十九箱、其他エキスプレスにてスコワシ六百三十一クレート、キューカンバー十四箱マシルーム一箱レタス三十クレート、ピンズ七袋、ピース四十二袋等出荷ありたり

▲スコワシ多量 前述の如くスコワシ多量出荷あり市價は幾分弱氣を帶べり

▲墨國瓜市場に現はる 昨日貨車入荷せし墨國產キャンタロープは今朝檢査を受けて市場に現れたるが一箱二弗七十五仙値を呼べり

◆果實類

▲チエリ 一箱一弗半
▲枇杷 一封度六仙より八仙大十二仙より十五仙
▲蜜柑 一箱(半オレンヂ箱入)二弗半より三弗半
▲ウオナタ 一封度十五仙より廿仙
▲オリーブ 一封度七仙より九仙
▲ベーヤ 一箱ウインタネルス三弗より三弗七十五仙下等貯藏品一弗廿五仙より二弗
▲オレンヂ チョイス五弗七十五仙より六弗半ファンシー七弗より七弗廿五仙
▲レモン 一箱チョイス四弗より四弗半ファンシー五弗廿五仙より五弗半
▲レモネート 一箱二弗半―三弗廿五仙
▲グレープフルーツ 一箱三弗半より四弗半アリゾナ四弗廿五仙より四弗半
▲アップル ニユタンピン一箱三弗テヤ二弗八十五仙より三弗四テヤ二弗六十仙より二弗七十仙四テヤ二弗廿五仙より三弗半フードリバーニユタン二弗廿五仙より二弗半上等二弗八十五仙
▲バナナ 一封度七仙より八仙
▲パイナップル ダズン四弗より六弗

◆苺類

▲ストロベリー 中崎及華村產一ドロア八十五仙より一弗十仙帝國平原產クレート一弗七十五仙より二弗

◆野菜類

▲キャンタロープ メキシコ產一箱二弗七十五仙より三弗
▲アスパラガス 一封度グリーン二仙より三仙ホワイトフイルランド五仙より六仙エキストラ六仙半より七仙最上等八仙より十仙
▲スコワシ サンマー、一クレート一弗廿五仙より一弗五十仙ラグ箱一弗七十五仙より二弗イタリアン一弗より一弗廿五仙
▲ペッパー 一封度フロリダ產ベル廿五仙より三十仙
▲甘藷 墨國產廿仙より廿五仙同チリ八仙より十仙
▲アーチチョーク 一箱七弗より八弗
▲ポテトー 一袋河下一弗七十五仙より二弗廿五仙オレゴンバーバンク二弗より二弗半サリナス二弗廿五仙より二弗七十五仙新物三仙より四仙上等六仙
▲甘藍 一箱四弗より四弗五十仙アーカンサス一バスケット(五十封入)一弗七十五仙より二弗
▲エッグプラント 一封度十二仙半
▲キャロット [illegible]
▲トメトー ラグ箱二弗廿五仙より二弗半
▲アニオン 南加產新エロー一クレート二弗半より二弗七十五仙新クリスタルホワイト南加產一クレート二弗廿五仙より二弗七十五仙新ブラウン一クレート二弗廿五仙より二弗半ブラウン九弗より九弗半輸入八弗七十五仙より九弗
▲グリーンアニオン 一箱一弗半より二弗
▲キャロット 一袋一弗より一弗半
▲ビーンズ 一封度十七仙半より二十仙
▲ピース 封度ビスモ三仙より四仙大四仙半より五仙
▲セロリ 一クレート二弗半より三弗半
▲カリフラワ 上等四弗フロリダ半クレート二弗より二弗半
▲キャベーヂ 一ダズン七十五仙より一弗廿五仙上等三弗
▲レタス クレート帝國平原產一弗より一弗半
▲スピニチ 一箱王府產一弗七十五仙より二弗
▲ルバーブ 一封度河下牛島產二仙より三仙
▲マシルーム 一弗より一弗四十仙サンノゼ一弗七十五仙より二弗
▲ターニップ及ビーツ 一封度十五仙より三十仙
▲エンダイブ 一袋一弗より一弗廿五仙上等一弗半より二弗
▲胡瓜 一封度廿仙より廿五仙

◆畜產物

▲バター エキストラチョイス卅六仙半プリムファースト卅五仙半
▲チーズ 加州フラツファンシ十八仙半フレツシエキストラ廿七仙半エキストラプレツ二十四仙半アンダーサイズ十九仙半
▲鷄肉 ヤングチキン一封度より一封度半三十二仙より三十四仙▲ヘンスレグホン大廿四仙より廿六仙▲ターキー、ドレッスド封度四十三仙より四十六仙
▲ダック 一封度廿二仙より廿五仙

◆ドン底生活……富川町の勞働市

―食ない時は金魚チヤブ― (三)

勞働者の一番仕事の多い時季は夏場でこの季節だけは賃銀の高い安いに係はらず大方仕事にありついて不足ながらも食ふには左して困らない樣だけれども一度一月二月のいはゆる『勞働者の霜枯れ時』が襲來するとあぶれと稱して仕事にありつけない連中が

「三々伍々群を なして三度の食事も碌々食べずちよつと見ると居ながらたらふく食つて人並の顏をし世間話に時を移して居るがその內實は飯屋で最も儉約した十二三錢のところで一食しあと二食は殘飯で露命をつないでゐるのだしかも未だかうした內は殘飯にしろ何にしろ人間並に米が食へるからいゝとして

その殘飯さへ 食わない樣になつて來ると金魚チヤブといつてパンを嚙つて一時をしのいだり腹に保ちのいゝコンタリ飯と彼等仲間で呼んでゐるコワ飯を一日五錢の分一杯位で我慢したりするのであるがコンタリ飯や金魚チヤブさわやれない樣になると川越チヤブと稱して燒芋を二錢か三錢位嚙つて一日を過すのであるがそれがもつとひどくなつて

芋も買へなく なると愈々の最後の手段たる／ー●●チヤブといふひどい段取になる水だけ呑んでは一日を過してゐるといふ有樣まことに慘めな吾々が思ひもよらぬ生活でかうなつては全く牛馬同樣―實は牛馬よりもひどく―たゞ生きてゐるに過ぎないいよ／＼かうした場合に押詰められると食ふ事さわできない連中であるから勿論屋根代二十五錢といふ大金があらう筈はない自然と

無料宿泊所へ 行くか或はまたオカン―彼等の仲間では野宿のことをかう呼んでゐる―するより外に道がない所が面白い事には彼等の仲間內でもこの無料宿泊所に泊るといふ事は勞働道に背くと思ふらしく非常な耻と思つて居るところでさていよ／＼無料宿泊所に行つたにしても此處は六七十人位しかの收容力を持つて居ないから御本家株●

立ん坊連に 占領されて居て滿員とあり斷はられて仕方なく野宿する外はない連中が澤山できる每夜アブレた勞働者がたくさん野宿して居るのはよく見掛ける所であるが心ない警官はこの哀れな連中に一掬の涙ごころか犬でも追立てるやうに追立て時には親切にも留置へ泊めてくれる事さへあるしかしこれはまだ自由勞働者中の中流に屬するものでこの連中の下に今一層の

ドン底生活が あると聞いたら讀者は恐らく承知しまいが事實あるのだから仕方がない恐ろしい世の暗い底そこにはどんな生活があるか

●日本人祖先は蒙古人種

血液研究上より立證した

大和民族の祖先が世界の如何なる民族に起源を有して居るかは歷史上又人類上之を證明するは凡ての學者が均しく困難として居る處であるが九州帝國大學醫學部教授で

▲血液研究の 大家である高山正雄博士は數年來血液研究の上より同問題に就き研究した結果動かす事の出來ない解決を與へ大和民族の祖先は蒙古人種であると云ふ斷定を下した高山博士は先づ同學部醫學士深町、烏井の兩學士及び其他數名の助手をして九州、信濃、仙臺其他全國各地の住民の血液を採つて研究した結果血液中Bの一に對するAの割合は平均一、六と云ふ結果を得たので更に博士は西曆千九百十九年獨逸の學者ヒルシフイル博士の發表に據る世界各國の人種の血液のAの含有割合を調査し之と對照した結果

▲日本人の血 液に蒙古人種即ちハンガリー國で現在のチェッタスロバキア國人種の血液と同一であることを發見したのであるがチェック・スロバキア國民は昔蒙古王成吉斯汗時代に世界平定の目的で歐洲に攻め入り現在のチェック・スロバキア國一帶を平定し此處に居住した所謂蒙古人種の子孫である從つて大和蒙古チェックの二民族の

▲血液が同一 であるとせば結局歷史上大和民族は蒙古民族に其起源を有するものと斷定せなければならないと云ふので右に就き高山博士は語る『世界各國を漫遊して見れば誰れも感ずる事であるが舊ホンガリア人即ち現在のチェックスロバキア人種が最も外見上から見ても日本人に似て居て頭髮も黑く目の瞳も黑くて特に女子等は最も懷しく感ずる其他の歐米人は血液上から檢査して日本人に近いのは土耳古亞るが比較的日本人と著しく相異點があつて支那人南洋土人等は著しく血液上相異するので比較的日本人種と近い緣故を有しながら其實遙かに違い所から見ても彼等に吾人の祖先を有しないと言ふ事が判るのである』云々

要求欄

人事

齒科患者を求む 加州齒科檢定の爲無料治療に應ず エブスター街一四二八

店員入用 日本人食料品店にて自動車の使へる店員入用 詳細は日米新聞營業部へ出向き聞會す事

求職 野菜園又は花園に働きたし アラメダ市パーク街一六一一 電話アラメダ二七五W

幹事採用 本會幹事として就職御希望の方は五月七日迄に當會宛履歷書添附御申込み被下度候 ウオナツグロブ 河下日本人會

プラマー ドグラス七四八二 井上

アイオン 師至急入用委細面談 カリホルニヤ洗濯所

金融 桑港エリス街一四五五夜分 ブツシユ街二〇一八 組利舍

職業紹介 YMCA サター街一四〇九 電フランクリン三六四

貸室 日當りよきシンク附フロント室貸し度し ブツシユ街一九五四 電話フキルモア三七〇七

水店讓度し 主人歸國の爲捨賣同樣 日本人町一等の場所 須市 耕進舍 小村

馬糞肥料販賣 一噸に付三弗 Bocgoff P. O. Box 691 Dixon, Calif. デキソン渡し

好チャンス 上等の洋食店夫婦者に適す日々の收入凡五十弗あり 1676 Post St., S. F. 常光法律事務所

新古洋服古物店 グリニン 歸國に付き讓渡度し委細面談の上 王府第八街四二一 藤井商店

酒店讓 數十年の得意を有する食料雜貨店經營者轉業の爲相當價格にて賣渡たし 154 Main St, Watsonville, Calif. 北地商會

活字 新しき六號廿五萬餘並にケース賣りたし 1816 Post St., S. F.

自由球場 テーブル八臺、風呂三、床屋椅子二臺賣却す ブロレー郵函六五七 スター洋食店 P. O. Box 657 Brawley, Calif. 安永

バスケット工場 持主歸國の爲め至急讓りたし ポスト街一五二二 電話フイルモア二〇三一 田中

保險 火災、海上、自動車、養老終身教育 332 Pine St., Sutter 4419 谷常男 ▲日米金門兩銀行割戻申込依頼に應ず 住宅 463 Moscow St., Tel. Randlph 1881

取次販賣 紳士洋服金銀時計指環寶石類 露木鯨之助 桑港カテザロー街四 電ウエスイ七四五五

古本賣買入 如何なる書物にても運送支払し運賃先拂に御送附あれば相當價格金致升 和洋文房具室務新雜誌一切 文明堂書店 123½ N. San Pedro St., L.A. Calif.

水晶印形取次 甲州堂 1509 Buchanan St., S. F. Calif.

尋ね人

畑中万太郎氏と交信したし M. H Box 501 Brithe, Calif.

尋 石野巳之太郎氏 東京府人以前ローダイ地方に居住 同氏に至急要件あり現住所御通知を乞ふ 桑港 大河原法律事務所

尋ね人 熊本 中山權藏氏の住所御存知の方は左記へ御通知被下度候 宮田恒七 1627 Broadwalk Atlantic City, N. J.

小櫻[?]明(島吉) 熊本縣天草郡大矢野島中村 岡本富太郎 和歌山縣海草郡北島村 加州須府東一街三一九 一野川 時計 洋服店

西木和太郎 ユタ州 齋藤虎吉 コロラド州 田中爾儀一 シヤトル 栗原敎俊 須市川下 右の人の住所知りたし 日米新聞社

大正藥舖

TAISHO DRUG CO. 1601 Post St., S. F. Calif.

◉男女強精 ウエキーアプ 百錠入一瓶五弗 二瓶九弗 三瓶十二弗 本劑獨特の働きは男女共に血液の運行を速め精力を増し神經機能の弱精力缺乏等衰弱より起る諸病を全治す

◉通經保證 イジーフロー 一週分二弗五十仙 二週分四弗七十五仙 實驗の効安全にして確實なる通經劑なり

◉麻淋消渇 ウイキ 服藥二弗五十仙 外用一弗五十仙 淋病消渇有効確實なるウイキは急性及び慢性困執の疑症も持續服用せば根本的に全治保證す

◉着荷 眞正熊の膽 壹個十五弗以上

◉最新發明 機能發育器 七弗五十仙 九弗五十仙 十四弗 十八弗

桑港ポスト街一六〇一 電話ウエスト五九七七

投票用紙

候補團體名稱	團體所在地名	票數	有効期限
		1	此投票用紙は加州內は五月十二日午後五時(本社着)迄 加州外は五月二十日(本社着)迄有効なり

千九百廿二年 五月六日

英語教授 初學者、新渡航者、婦人及年少者の爲に懇切教授す パイン街二八一一 寺澤教館 電話フイルモア二二一〇

金門商會 特に御贈答品は御注文次第調製 並に鮮魚食料品一切 桑港ゲリー街一五二九 電話ウエスト四三七九

かまぼこ 製造卸小賣

原田寫眞館 桑港フイルモア街一六三三 電話ウエスト六三六〇 (ポストとゲリーの間)

見本進呈 珍書閣 2204 Pine St, S.F. Phone West 2154

オキシヘーラー 詳細書面にて何事も早速說明致します 東京オキシヘーラー獎勵會米國販賣部 ●家庭常備品 Rt. 2, Box 154 San Jose, Calif. 西原眞一

御祝御佛事用 御菓子司 花月堂 長崎名物カステラ特製 桑港ポスト街一七三三 電話ウエスト六八三二

あんま術 福岡盲啞學校按摩、鍼灸科卒業 桑港ゲリー街一五二一 電話ウエスト一七四 田守

英語教授 親愛なる日本人諸君の成功は實地的英語習得にあり妾は『ヤー』著者且十數年經驗あり懇切教授す Miss. C. RYAN. Tel. Pacific 3764 341 Spruce St., S. F.

財滿商會 和洋雜貨、時計、寶石類、煙草 桑港ゲリー街一五二五 電話ウエスト三九二九

巴裁縫女學院 1626 Buchanan St., S. F

乘船券取次所 田村旅館 館主 田村信吉 電話ガーフイルド二一九六 440 Pacific St., S. F. Calif.

オキシヘーラー 酸素療器 福山オキシヘーラー發賣所 K. Fukuyama's Oxyhealer 124 N. San Pedro St. Los Angeles, Calif.

御菓子卸小賣 武田製菓所 桑港 サツタバーノ二二八 電話カーネー二八九七

西洋按摩治療所 故陸軍々醫監長瀨式マツサーヂ 桑港エピスネテル第一號室

N.Y.K. シアトル出帆廣告

△博多丸 五月三日 五月廿三日
○靜岡丸 五月十二日 五月廿五日
△常磐丸 五月廿五日 六月十七日
○橫濱丸 六月三日 六月卅日
△豐岡丸 六月十五日 七月六日
○加賀丸 六月廿三日 七月六日

△印濱船は一等船賃百八十弗、二等百廿五弗、三等五十五弗 ○印濱船は二等室無之但二等を三等に改設せし結果食堂、喫煙室及び家族室等の設備有之候

日本郵船株式會社シアトル支店 First Ave., at Columbia St., Seattle, Wash.

◆第三回副賞投票は後二日で締め切る

◇今や必死の勢で奮闘最中

◇入賞せぬのは名折れさて

※※新興團體が殊に猛烈

奮闘中であつた第三回副賞投票は愈々二日で締切る段取となつた、今や各參加團は必死の勢ひで奮闘を續け乍も僅かな差で入賞せぬとあつては實に團體の名折れだ大に努力する」と決心を述べられたものが却々多い

▼第四期の締切は一昨四日に行はれ今六日其れを開票し明七日の紙上に發表する筈だが第五期卽ち第三回副賞投票最後の締切日は八日正午であるから此期を逸しては最早や此副賞に望を置くことが出來ない譯、殊に最後の第五期締切には其得票の最も多きものに五十ポイントを與へる規定であるから

地方別	名稱	投票數
羅府	南加熊野愛友會	七八一五七一
桑港	佛教會學園	五六四〇六八
須市	基督教青年會	五三四三四
モデタ	ガデナ平原青年會	四一九五七一
桑港	シスター幼稚園	三五〇八三
羅府	本願寺佛教會	三三八二六九
ハンホード	ハンホード學園	二八一九〇二
ベンリン	プラサ青年會	二三七一五三
バレヤ	バレヤ學園	二二三三二〇
アリゾナ	ウインスロ青年會	二〇九四八六
桑港	救世軍	二〇九〇二八
ガタローブ	小兒院	一八六一二三
羅府	南加小兒院	一四四八〇八
華村サリナス	體育會	一三三四七七
王府	王府學園	五五七八七
コロラド	フォートラプトン大和小學校	三五五四九
王府	濁東基督教平信徒同盟會	二七一九〇
桑港	金門學園	二〇一九四
羅府	羅府第一學園	一八二一〇
櫻府	旭運動倶樂部	一七〇四四
セバストポール	ハイスクール倶樂部	一六三六〇
佐市	ソノマ郡青年會	一五八六五
桑港	協和學園	一三五六三
カレキシコ	日本獨立教會	一二九六五
桑港	第一リホームド教會	一二四七一
ネブラスカ	聯州同胞啓發會	一〇二八九
桑港	聯合公會幼稚園	八九八七
櫻府	櫻學園	六九四二
桑港	テニス倶樂部	六七〇五
桑港	山梨共勵會	六〇八〇
コロラド	デンバア日本學園	六〇〇三

▼前期迄餘り揮はなかつた團體でも此期に巨彈を投じさへすれば相當の成績を收め得る譯、又前期に於て好成績を收めたものでも油斷して此期を逸したらば遂に永久に副賞を占める機會が來ない、副賞投票も之れが最後であるから第一第二兩回共に入賞して居らぬ團體は是非此の

◆寄贈品

一、第三回副賞投票の「米 味噌 三樽 共同消費會社

一、應急手當用材料 一揃 大阪 藥店

▼最後の副賞に入賞するやう努力することが必要である、又前回に入賞したものでも最後のものにも入賞して終始一貫的態度を以て愈々總締切に向つて最後の奮闘の幕に入るやう計畫されたい『折角今日まで奮

第三回副賞

◎ポイント競爭

諸規定左の如し◎

四月廿四日締切四月廿七日發表以後每回發表の各團體投票獲得數と其前回發表の投票獲得數の累計とを比較し每回其差數により得票の最も多きものを一等とし順位十等迄の十團體に對し一等に十ポイントを與へ等級に應じ順次一ポイント宛減して十等に及ぶ

更に五月八日締切五月十一日發表の本副賞投票最後の得票に對しては五月七日發表の投票累計と十一日發表すべき投票累計とを比較し其得票の最も多きものに五十ポイントを與へ順次其差數の等級に應じ五ポイント宛減して第十團體に及ぶ

最後に以上每回の得點（ポイント）を合算し其數の一番多きものより順次第十團體迄が入選と定む、若し第一回目より第五回目迄のポイント競爭にて同數の（投票數同一）ありてポイントの順位を決定し難き場合には監査役の抽籤に依り其順位を決定し更に最後のポイント累計に於て同點者ありたる時は此副賞投票期間內に於ける得票數の多きものを上位者と定むべし

▼締切日及發表日

締切	開票	發表
五月一日正午	三日午後一時	四日
五月四日正午	六日午後一時	七日
五月八日正午	十日午後一時	十一日

本社に直接持參する投票は前記每締切日の正午に締切る、遠隔地方郵便にて發送するものは前記各締切當日正午以前の郵便局證印又は證明あるものに限り前記各締切日に相當する開票時間前に本社へ到着したるものを採點す但し交通機關其他故障による郵便物遲着等は發信者自身のリスクにして本社其責に任せず

◆賞品

第三回副賞投票に對し

一等	新インタナショナル百科全書	全廿四冊
二等	タイプライター	一臺
三等	加州地圖（掛圖）	一幅
四等	日本家庭百科事彙	全二冊
五等	帝國地名辭典	全二冊
六等	こさばの泉	全二冊
七等	應急手當用材料	一揃ひ
八等	味噌	一樽
九等	同	一樽
十等	同	一樽

第三回副賞投票

ポイント競爭得點表（回數）

	團體	1	2	3	4	5
	ハンボード學園	一〇	一〇	七		
	桑港救世軍本營	九	二	四		
	南加熊野愛友會	八	八	八		
	シスター幼稚園	七	七	五		
	須市基督教青年會	六	五	五		
	バレヤ學園	五	…	一〇		
	ウインスロ青年會	四	四	六		
	華村サリナス體育會	三	…	二		
	羅府南加小兒院	二	九	一		
	プラサ青年會	一	一	三		
	桑港佛教會學園	…	六	九		
	ガーデナ平原青年會	…	三	一		

●米墨國境通過

問題解決

▽低加州日會運動

米國議會を通過せる歐洲移民入國制限案は本年度議會に於て更に延長され大統領ハーデング氏は凡ての外國人にて米國に來らんとするものは必ず

▼旅行券を示さざる可からずとの訓令發布せられ一日よりこれが實施をなす事となりしが從來墨國メキシカリよりカレキシコ市に到る國境は旅行券の有無に關せず出入を自由ならしめ同地に於ける日本人事業家は多大の便宜を得つゝありしが此の新令のため五月一日より絕對出入不可能となりしより

▼低加州 日本人會は八方奔走努力なし事業の關係上日本人は特別扱ひとされたき旨ハーデング大統領に向つて電請せし處今回國務卿ヒユース氏より特に日本人に限り出入の許可をなす旨來電あり愈々八日以後は解禁となりし次第なるが其の條件として國境を出入する者はカレキシコ町以外に出でざる事として在メキシカリ

▼日本人は漸く其の自由を得て凡ての上に多大の便を得るに至れりと（羅府支社通信）

◆野球團より本社に禮狀

佐市亞市の兩團

大成功裡に閉會した本社主催の加州同胞野球大會に參加のサンノセ及びアラメダ兩野球隊團より本社の勞を謝し左の如き謝狀を寄せて來た

拜啓　時下益々御多祥大賀斯の事に奉存候、扨過般御開催相成候貴社御主催の野球大會當時は何暮となく御高配を忝ふし尙は其前夜の如きは鄭重なる歡迎晚餐會迄御催ふし被下誠に難有、弊團員始め當地方後援者一同大に感謝致居り候次第に御座候、先は右不取敢一同に代り御禮申述度く如斯に御座候也　早々頓首

五月二日　佐市旭野球團長　岡垣吉太郞

日米新聞社御中

前略　先日來貴社御主催の野球大會に際し一方ならぬ御世話に相成り候段誠に難有く本團員一同の厚く感謝致し居る所に御座候先づは略筆ながら御禮まで如斯に御座候

五月二日　アラメダ體育會野球團

日米新聞社御中

◆雪州早川氏が

九萬二千弗

の新訴訟提起

アールシー社に對し

雪州早川はルーフス・コール氏を社長とせるロバートソン・コール會社を相手取つて此種九萬二千弗の訴訟を提起するに至つた此は一昨日早川氏が同社の全財產差押の手續を踏んだので世間に知れ渡つたのである。早川氏の

▼理由とする所は昨年七月同社と六個の活動寫眞製造の契約を爲し一個二萬弗づゝ受取ることになつてゐた、そして契約の許に二個製造して四萬弗は受取つたのであるが殘り四個を製造せぬ內に罷免せられたれで同氏は其等に對する報酬及び實費を既得の權利として頭書の金額を請求に及んだのであると

●米國に曹洞宗

布教所

設置の爲め

之れが調査する

曹洞宗海外布教監督布哇別院磯部修仙師は同宗派出海外留學生の狀態調査を兼ね全米に於ける宗教視察の爲め來桑小川ホテルに滯在中なるが

▼師は△千九百廿年布哇に於て決行されたる砂糖耕地日本人勞働者大罷工に際し最後の調停を成せる人にて渡米の用務並びに布哇日本人の近狀に就て語る『先般管長新井石禪氏が米國巡錫の結果近く米大陸にも曹洞宗布教所を設置し宗門の爲め努力する筈で私は其調査に參りました、本年十一月日本で開かれる

▼曹洞△宗議會開會迄に歸朝し具體的の方法を講ずるので既に石禪師が詳しく視察して歸つたのですから存外話は早く纒り近々開敎使が渡米の運びに成るだらうと思ひます、何分禪宗布敎使は一人も大陸に居らないのですから是非設置する必要はあります

布哇の昨今も非常に不景氣で彼の大罷工當時の幹部連十二名は一等共謀罪で告發され先月判決の結果皆二年以上の刑を言渡され目下大審院に上告中ですが之が爲め各耕地の勞働者は動搖し罷工當時は全日本人勞働者八万人が關係して居つたので種々の流言蜚語が行はれ其間爲にしようとする不逞の徒が續出し益々動搖の度が廣く成るばかりです其上去月布哇ヒロ市の日本人と一番取引のある人民銀行が破綻の結果同胞の金融機關はピッタリ止まり不景氣で收入が無い上に此打擊を受け殆ど火の消ねた樣に沈滯し切つて居ります」

音樂界で大に認められたる結果メトロポリタン歌劇會社と契約して三年間同會社に出演する事となつたが同孃は來月再び桑港に來り須氏大學スタデヤムにて前後二回カーメンを上場する由

●露國歌姬來桑

須氏大學で出演

去年の暮れに日本より渡米し桑港コロムビヤ座で露國歌劇を上場し大成功をなせるアイナ・ブルスカヤ孃は此程に至り紐育の

◆獻立表

花より團子

獻立表！沙翁が何んだ、ミルトンやハイネが何んだ、此方我生れてから我輩が讀んだ青表紙の內で此本が一番味があるわい——

●米國經濟學者招聘

―慶應大學の擴張

日本では地方に良敎師欠乏

▽現內閣では昇格が望みがない

慶應大學幹事石田新太郞氏は大洋丸にて來桑し目下帝國ホテルに止宿中なるが往訪の記者に語る『私の今度の旅行の重な目的は歐米の各地大學を參観して敎育上の

▼諸設備を研究したい希望なのですが又米國ではハーバート大學と我々の方とは永い關係もあるし同大學の現總長に依賴して經濟學者を一名と英國からは英文學者を一名招聘したいのですが、慶應の方も段々と擴張しましたか近く純正科學卽ち理工科の如きものを一部増設したい考へで着々と其の準備を進めて居ます、尙日本も最近敎育が非常に勃興して來ましたが未だ文部省を始め總ての人々に教育行政方面に關しての智識が全く足らないやうです、例へば學校を增設すると云ふ事には誰れもが贊意を表する所ですが肝腎の敎員養成と云ふ事を忘れて居ました、其の結果

▼拔いて專門學校や高等學校の敎授をしました、所で援擢した者は良いが全國の中學校の敎師に今度は不足を來たし實に情けない有樣で粒の揃つて居るのは二、三縣にすぎませぬ、文部省の考へでは寺小屋のやうな

●スースン會長更迭　同日會長宮井武雄氏身上の都合により辭任し評議員會に於て互選の結果太田弘太郞氏當撰就任せりと

六名の波斯人が留置されて居るが其代表者としてベラ夫婦が人身保護律適用を要求し入國を迫つた所デイトリッチ合衆國法廷判事は本年度の波斯人入國者が已に規定の三パセント以上に及んでるとの理由で之を拒絕した爲め彼等は何れも近便で悉く本國に送還さるゝ事になつた

◆波斯人送還命令

入國許可數超過の爲め

天使島移民留置所には目下二十

◆女優倶樂部長

メリー・ピックフォード推さる

小柄のメリーさんとして知られ活動女優のメリー・ピックフオードは一昨日新たに組織せられた活動寫眞女優倶樂部の會長に選ばれた同倶樂部は活動女優の名聲を保たんが爲めにヘレン・ファグソン孃が首唱組織せるもので入會は充分吟味の上で荐ばれ映畫業の信用を落す樣な女優をば入會せしめぬさ

●關稅が通過すれば

景氣は回復

破產表によると

今が最惡の時期

日本人商業會議所昨日會員に向つて米國內破產數增減表を配布してゐるが右に就て渡邊書記長は語る

▼破產表を見るに昨年の春以來件數も負債高も漸減の傾向にあつた昨年十一月十二日から急激に增加し負債高は十二月八千七百萬弗に達し破產件數は本年一月二千七百五十件に登り共に未曾有のレコードである爾來幾分か減少はしてゐるが兎に角此の表によりて見るも經濟界の實際は仲々まだ

▼回復し居らぬことを示しゐるのである併し東部地方は回復の兆候もあり米國關稅が通過すれば國內物價の騰貴すべき可能性を有するが故に之に伴ふて一般景氣も回復すべきものと思はる

◆東西時報生る

肩の凝らぬ雜誌

草人君と浦路さん夫婦の丹精に成る雜誌『東西時報』が愈々生れた、矢田總領事の『モーパサン』を筆頭に收めたわ其見出だけでも五十二ある、文藝、音樂其他一般社會と交渉の多い問題を捕へ草人君一流の型にハメて巧に書きこなした氣のきいた俗に云ふ肩の凝らぬ雜誌、一部が五十仙

●日本は第五位

外國貿易額に於て

合衆國關稅委員會は一昨日日本の外國貿易の發達に就て報告をして曰く『一八九〇年日本の外國貿易額は僅かに六千九百萬弗であつたが一九〇〇年には二億四千五百万弗となり一九二〇年には約二十一億三千万弗となつた、かくて殆んど零の日本は世界商業國の第五位に昇るに至つた』と

●南北庭球試合

來る七日當市で

金門公園コートにて遠征し來れる羅府日本人庭球倶樂部と對戰する筈にて兩部選手名左の如し

羅府　清水、大田、朝倉

桑港　芳川、關口、遠藤、栗原、高桑

●素人芝居藝題變更　上街素人芝居は出演の役者が目下連夜下稽古中なるが先代萩をやめて二十四孝桔梗ケ原から勸助物語の場まで三幕に代ゆることにし其役割は左の如くであると

高坂彈正（津田）▲同妻唐織（秋山大三）▲保科彈正（宮居）▲同妻入江（大上珍舟）▲勸助（宮居）慈悲藏（中山順次）同女房お谷（河井竹代）

●小川龜重氏送別會

近々渡歐のオーオー藥舖主小川龜重氏の送別會は五月三十日桑港有志者によりて行はるべしと

「日米」讀者に限り

書籍總て一割引にて提供す但し部數に限りあり左記ものを以て「品切の時は何を入用」と記入註文を乞ふ（二）

日米新聞社營業部

著者	書名	價
星野榮二郎	清酒釀造法	四、八〇
谷崎潤一郎	女人神聖	一、七〇
實業日本社	岡田式靜坐法	一、七〇
加藤文讓	最近の在米同胞	三、五〇
河上肇	祖國を顧みて	一、二〇
德田秋聲	媾曳	六五
角田浩二	漫遊八國記	三、〇〇
早川鐵治	舌彈	一、二〇
森芳太郞	寫眞術講話	六、〇〇
結城林藏	實用寫眞術	二、〇〇
高橋五郞	エマーソン社交論	一、〇〇
佐藤中將	日米若し戰はば	二、五〇
民友社	國際聯盟	一、六〇
某外交家	米國對外政策	八〇
村井知至	英語自修全書	二、〇〇
久保天隨	詞華類典	一、八〇
模範	新英和大字典	四、二〇
金澤	著辭林	三、二〇
佐々木祐太郞	花卉園藝	四、八〇

熟練なる植字一名

右大至急入用（高給を支拂ふ）

日米新聞社

◆投票數豫想競爭

一般讀者の爲めに

其規定は左の如し

一、課題　本社催しの公共團體援助投票五月廿五日最後の締切に於て第一等の總投票數と第二等の總投票數を加算したら幾何の數になるか

一、答案者資格　日米新聞讀者に限る、本社員及び關係者並に其家族は其資格なし

一、一人一答　答案は一人一つ限りとす

一、答案用紙　ハガキにインクにて鮮明に認め宛名を日米新聞社投票豫想係とし答案者の住所姓名を記入すること

一、締切　五月十日とし此日の郵便局消印あるものは有効と認む

一、賞金　投票發表の結果と全く同數を回答した人には

金一百弗　贈呈

右の外一番近い數を寄へた人から順々に左の賞金を與ふ

金廿五弗	一	人
同 廿弗	一	人
同 十五弗	一	人
同 十弗	一	人
同 六弗	一	人
同 四弗	一	人
同 三弗	一	人
同 二弗	一	人

以下順次十五人に各一弗宛

御遊金は

確實有利なる日本の

公債株式へ

獨逸紙幣

ベルリン市債四分利附

買附委託に應ず

國債、社債、株式、英貨公債、自由公債、割增金附勸業債券

賣買委託

公認公債株式賣買

岩山商會

1960 Bush St., San Francisco, Calif.

Tel. West 8801

船名	發	日本行
波新丸	四月三十日	五月七日
大洋丸	五月三日	五月十一日
西比利亞丸	五月廿四日	五月卅一日
安洋丸	五月廿三日	五月廿五日（南米行）
天洋丸	六月四日	六月十二日
コレア丸	六月十日	六月二十日
春洋丸	六月廿六日	七月五日
銀洋丸	七月二日	七月四日
静洋丸	七月一日	七月三日（南米行）
波斯丸	七月十六日	七月廿二日

マーケット街五五一　電話サター三九〇〇

東洋汽船株式會社

桑港旅館組合

日本行乘船切符取次販賣

旅館	住所	電話
熊本屋	20 So. Park	カーネー二七二九
井木旅館	104 So. Park	電話ドグラス三九三
安藝ホテル	1651 Post St.	ウエスト六二二一
日本ホテル	1551 Laguna St.	ウエスト五二二五
富士ホテル 玉城館	523 Grant Ave.	カーネー一三〇五
加州ホテル	1019 Stockton St.	ダグラス三一一三
近江屋旅館	108 So. Park	ダグラス四八九八
エビスホテル	1645 Buchanan St.	ウエスト三四四九
福岡屋	171 So. Park	カーネー二七一三
永本旅館	22 So. Park	サター八六六一
名古屋ホテル	1759 Post St.	フィルモア三五三三
北米旅館	1570 Buchanan St.	ウエスト三三三二
廣島屋	1632 Post St.	ウエスト九四四八
日米ホテル	2018 Bush St.	フキルモア四六五
ミカドホテル	1734 Post St.	ウイスト一九九一
紀の國屋	1623 Buchanan St.	ウエスト五五四六
南海屋	84 So. Park	ダグラス六四七一
帝國ホテル	1523 Geary St.	ウエスト六九三九
田村旅館	551 Pine St.	ガーフキルド二一八一
防長旅館	440 Pacific St. / 102 So. Park	ガーフイルド二一九六 / サター八五〇一

新刊萬國百科全書 冊數廿四

定價百四十四弗

第三回副賞一等景品

締切五月八日

お小夜

【其五】 寺澤琴風

それから二時間ばかり經つて哲郎は更に、母の部屋に呼ばれて行つた。話題はやはり歌子との結婚の話の續きであつた。

『私は最前お前の言つた意見に就て靜かに考へて見ましたが其れとこれとは問題が別だと思ひます。それは伯父さんの過去の罪いや過失として、私達の胸から忘れてお上げしませうぢやありませんか。……それからお前は歌子さんに就ても妙な噂があるとお言ひなのは、この間なんとかいふ新聞に歌子さんが伯父さんと一緒に帝劇に見物に行つたのを妙な風に書き立てたのをお言ひだらうと思ふが、それなれば全く根も葉もないことで、その事について伯父さんは非常に迷惑をしてゐらつしやるのです。嚴格な伯父さんにそんな事があらう筈もなし、又その後引きつゞき歌子さんの御兩親が安心して歌子さんを伯父さんのお家にお預けしてあるのを見ても新聞社の人がいゝ加減な出鱈目を書いたといふことがお解りだらうと思ふ。それにお母さんも早く隱居したいと思ふから、お前に一日も早く身を固めて貰ひたいのです。……それにこれは極く内密の事ですが、伯父さんの長男の淸さんは大變發明な生れ付で、學校の方もよくお出來だつたが、高等學校をもうあと一年といふ時にまつて、今以て行方不明、弟の陽吉さんは道樂物で、伯父さんに迷惑のかけ通しなので、お前か歌子さんと結婚して、子供が出來たら、一人の子供を自分の家の後繼に貰ひたいと言つてる位なのです。それやこれやで、今度の縁談をお前が承知してくれると、親戚一同好都合なのですお母さんはたつて、お前にお勸めします。』

綾子は斯う言つて、哲郎の返事を待つた。

『哲郎、お前の心持は十分お母さんは察して居ります。けれどこれは一生の大事ですから、よく前後の事を考へなくてはなりません。』

『……………。』

『お母さん、お話しはよく解りました。けれどもう一二年の間私に此の結婚のお話を御猶豫下さいませんか。私只今少し考へてる事がございますから。』

『考へてる事と申しますと。』

母の追及は頗る急である。

『少し研究して見たいものがあるのです。けれど結婚しますとそれが思ふやうに出來ませんから。』

『哲郎、お前それは口實といふものです。歌子さんはお前の研究の手傳けにこそなれ、お前の研究の邪魔になるやうな女では斷じてありません。……ちやお母さんが申しませう。お前はあの小間使ひのお小夜の事を思つてお出でだらう。いゝわ私はとうから其れを知つてゐます。お前あの女はなんだと思ひます。お小夜の母親といふのは下谷の女髮結で、兄は破戸漢で二三度監獄にさへ行つたことがあるといふぢやありませんか。』

『お母さんそれや本當ですか。お母さん。』

哲郎は魂の底までひやりとしたやうに感じて斯う言つた。

柳橋悲話 (五)

◇弟と妾の去し後◇

常磐津式强盜 警察の呼出しにつれて仲子が行つて見ますと、巡査がお前に引合はせる人があると云ひます、警察で引合はしてくれる人とは一寸心當りもない事故、烟にまかれたやうにして立つてゐるとやがて奥へつれてゆかれて

▽薄暗い留置 所の入口でサア此男をお前は知つてゐるだらうと、面前に出された人をぢつと見ると、始めは先方の男が俯向いてゐるのと暗いので氣がつかなかつたさうですが、よく〳〵見ると、うれが即ち父の妾と朝鮮へ逃げた弟、即ち仲子にとつては叔父さんでありました元より平生から

▽人柄の好い ぞつちかといへば父よりも好きだつた叔父さんが、かういふ淺間しい姿になつてゐるのを見て、仲子は肝を潰すばかりに驚きました、まアどうして叔父さんがといひますと、叔父は何とも云はず、只お前たちには濟まない濟まないと小聲で繰返してゐたさうですあとで巡査部長が仲子に先頃輻榮家へ入つて姉妹二人を驚かした强盜は、この叔父だつたのだと話してくれました、すると仲子が

▽違ひますと 突然云つたあの叔父さんなら中肉中脊ですのに、あの時の强盜は大男でした、それから叔父さんの聲は細い聲ですのに、あの時の聲は太い聲でしたと云ひますと部長がいやうれには譯がある、本人の話によると、あの時本人は身の丈を隱す爲めに爪立つて歩いてゐたさうだ、それから平生常盤津をやつてゐたので、習ひおぼわた

▽常磐津風の 臺詞まはしで、幸西郎や左團次の聲色をわざと使つたのだと云ひました、それにあの男は强盜に入つたのではない、實は兄を殺さうと思つて忍んだのだと云ひ張つてゐる、强盜だけならそれで好いのに、父を殺さうと思つたといふ事を飽くまで云ひ張る爲めに、

▽謀殺未遂で して罪が重くなるのだ、本人にどう云つて聞かしても、殺す爲めに忍んだとばかり云ひ張るのには當方も弱つてゐると語つたと云はれて仲子は私かに淚を流したといひます、ある辯護士が義侠的にこの男の爲め辯護をしてやらうとしてゐるさうですが、此男は相變らず强盜で罪に落ちたくないと謀殺にしてくれ〳〵と云ひ張つてゐるさうです (をはり)

◆民謠

(月) 帝原 佐瀬曉

寢屋の廊下の丸い窓
昨夜開いたりのまんま
忘れて寢たら眞夜中に
兎が可愛い手を出して
遊に御出と云ひました
月はこの世の窓だろか
兎が可愛い手を出して
遊に御出と呼んで居る
月はこの世の窓だろか。

(島へ) 城南

波の五百重に
一重々々に
曳く八重霞
二人で分けて
君と行きましよ
紅の帆立てゝ
椿咲く島
戀の島

加州齒科醫師會

桑港ゲリー街一五二六 フイルモア七九二 井戸本保之助 (いろは樓)
桑港ポスト街一七七六 フイルモア四二〇九 林秀樹
桑港ブキヤナン街一七三九 フイルモア九一〇 小川榮一
桑港ポスト街一五三〇 ウエスト六八四 田中敏太郎
桑港ブキヤナン街一五六八 フイルモア二二六八 山本辰雄
桑港サター街一八七七 ウエスト八三五〇 藤田省三
桑港ポスト街一六六〇(五車堂二階) フイルモア一二二〇 木暮篤太郎
桑港ポスト街一六六二 ウエスト二四八四 檜垣益一

桑港公認齒科醫師

入院隨意 日本病院 產婦人科、內外科、小兒科 耳鼻咽喉、眼科、皮膚科 桑港パイン街一八一一 電話フイルモア二〇〇四 中村竹之助

桑港ブキヤナン街一五五二 電話フイルモア五二八八 北河醫院 北河慶次郎

十全醫院 1763 Post St. 內科 小兒科 喜安都定 外科 婦人科 橘田慶通 電話 醫院ウエスト九三九八 住宅フイルモア三二九

1731 Buchanan St 內科、皮膚、泌尿器科 伊津野醫院 電話ウエスト八一二四 ブキヤナン街一七三一

設備完成 入院隨意 帝國病院 桑港ポスト街一六三一 電話ウエスト七一六二 加州醫科大學出身 ドクトルオブメヂシン 井木繁喜

診察 By Appointment 帝國大學醫學士 福田洋洲 桑港市パイン街二〇六八 電話フイルモア五九二八

內科、外科、小兒科、產科、婦人科 桑港ウエブスター街一五四八 (ポスト街ゲリーの間) ドクトルメヂチネ 藤森直和 電話フイルモア五六四

桑港公認醫師會 (ヱビシ順)

貸金 自由公債 買入及び抵當債利貸金 貴金屬類 フイル 賓買勉强 モーア質屋 物品は七ケ月保管す 桑港フイルモア街千百八番 ゴールデンゲート街角 エコーン

上等婦人帽子 特別勉强 フイルモア街一六四〇(夜間營業) ポストとグリーの間 ローズ帽子店

ウエブスター街一五四二 電話フイルモア一五七七三 電氣風呂設備完成 マツサーヂ專科 櫻庭療院

鮮魚、精肉 和洋食料雜貨一切 蒲鉾製造卸小賣 御注文に應じ申可候 桑港ポスト街一七四七 電話フイルモア四二九四 桑港魚市場

大阪藥店

公認調劑 郵送無料

男女強精錠 精力を增進し神經衰弱を治す最新藥なり 一瓶二十五錠入一弗三十錠入
有効安全 通經丸 有効安全に通經し身體を健全にする月經藥 一劑五弗
赤十字印 胃腸丸 米國製劑 胃腸病にて御困りの方は一日も早く此藥を用ひなさい 定價一弗
淋病新藥 ゴノタール 此藥を內服すれば外用藥を用ふる手數なく然も治淋の目的を達する最新藥なり 專門名醫博士發見 五弗
最新方劑 わきが妙藥 臭氣は如何なる頑强なるワキガも拭ふが如く治す 一弗
最新醫療 機能發育器 機能障害に用ひて驚るべき効果あり 八弗、十四弗、十八弗

桑港ポスト街一五九四 電話ウエスト三四七四
OSAKA DRUG CO 1594 Post St., S.F. Calif.

藥局 藥品目錄無代贈呈 公認調劑 日本ドラグストア 桑港ポスト街一六九〇 電話ウエスト一八六 NIPPON DRUG CO. 1690 Post St., San Francisco

御地病院御託送 桑港スタクトン街七五八 電話カーネー二四七六 高尾鶴松

HOTEL FUJI 423 Maynard Ave. Seattle Wash. 貴君御歸國御旅行等の際は前以て御通知被下(へば上陸に關し必要なる事項早速御返事可申上候) シヤトル市メーナード街四二三 旅館支館二棟タコマ及キヤマ旅館各二百室最新設 藤井旅館

調劑 確實 藥劑師 小川能三 北米藥舖 1617 Geary St., San Francisco. 電話ウエスト六六六二

小田運送店 ポスト街一七七六 電話フイルモア四六一

公認 眞鍋產院 眞鍋はつよ 公認產婆 桑港ゲリー街一四二八 電話ウエスト七四一八

上田產院 公認產婆 上田タメ 桑港ウエブスター街一五二六 電話ウエスト五〇六八

美術裸體寫眞 大形六百種、一枚七十五仙 郵便切手卅仙送附の方には見本一揃進呈 Oriental Art Studio G. P. O. Box 312 N. Y. City

紐育寫眞帖 一冊一弗 同繪端書 五十枚一弗

川口產院 桑港ブッシュ街一九〇七 公認產婆 川口藤子 電話フキルモア一九〇四

姙產婦收容隨時往診 公認產婆 家木英子 (桑港病院) 桑港ブッシュ街一八〇八 電話フイルモア一九八六

公認 林產院 桑港ポスト街一五二八 電話ウエスト五七六八

京都帝大 選科卒業 公認產婆林イエ 公認產婆 中山產院 桑港ウエブスター街一五六二(ポスト街角) 電話フイルモア二九〇一 鹿兒島 飯田ライ 中山恭子

飯屋新開業 今月定めでお上りになる方には特別御勘定致します 桑港ブキヤナン街一七一八 電話ウエスト三二六三 うすゞみ

フランクリン 六 賃金低廉 迅速叮嚀 御用命

祝餅並に赤飯 オキモチ 煎餅卸小賣 桑港ポスト街一八二三 電話ウエスト一四二八 春月堂

野外に働く諸君の叫び! 暑い暑くて堪らぬ仕事は益々ハード汗は瀧の様に流る 水!水! 冷たい水 諸君の要求は最近發明の二重眞空大形(一ギヤロン入) 魔法水にて容易に解決さる御求めの方は左記の處へ御申込下さい 特價金十弗 アラヂン會社 特約店 藤中商店 FUJINAKA & CO. 1106 East 44th St., Chicago, Ill.

勞働者大拂底=賃銀大奔騰

ウオナツグローブ 河下日本人會農事部

セロリ草取り チエリー摘採 フルーツ間引
仕事初め アスパラのピースウヲーク等
望み次第の高給働口澤山

愈々チエリー始まる

(フルーツのシンニング其他澤山あり)

高給を支拂ふ
仕事口懇切周旋

コートランド P. O. Pox 47 Courtland, Calif.

日本人會農事部
タウン家持一同

◎在外者小口當座預金 利息年六分
本預金は在外各位の爲めに特に設けたる御便利なる預金にして左の通りの特長利益有之候
(一)出し入れ共通帳に依り五ケ年間は御帰省の必要無之候
(二)利率は定期預金公定利率と同じ割合にて而も定期預金利息には百分ノ五の所得稅を課せられ候得共本預金利息には毫も課稅無之候
(三)利息は年二回計算の上元金に組入れ可申候御預入は銀行又は郵便爲替にて御送附被下度候取扱店は當行廣島、下關、門司、神戶、福岡の各店に御座候
◎定期預金 利息六ケ月以上 年六分
株式會社 三井銀行
各支店出張所所在地 東京本店、日本橋(東京市) 橫濱、小樽、名古屋、京都、大阪、大阪西(大阪市) 中之島(大阪市) 川口(大阪市) 神戶、廣島、下關、門司 福岡、若松、長崎、上海(支那) 紐育(米國)

桑港櫻府電氣鐵道 桑港埠頭キールートより櫻府行 櫻府より桑港行每二時間發車す San Francisco-Sacramento R. R. Key Route Ferry, Tel. Sutter 2339

すき燒 博多屋 ブキヤナン街一七〇九 電話ウエスト一六六二

小幡裁縫女學校 獨特の裁方を敎授す 桑港ポスト街一八一〇 小幡繁子

英語個人敎授 ◎皮膚病專門男女症病全治保證 通信は總て日本文にて宜敷候 診察時間自午前十時至午後九時 グリー街一四〇八ミセスカイル 醫學博士 劉日初 桑港グラント街五〇二 Dr. LIU YIO-CHO

金門產院 公認產婆 村山なみえ 桑港ポスト街一六二四 電話フキルモア一七六一

すし並に御料理 矢車 ブキヤナン街一六二一 電話ウエスト八八八七

御禮廣告

故妻千鶴代儀葬儀の際は態々御會葬被下且つ御香料等を賜り奉深謝候一々參堂御禮申可上筈の所取込中乍略儀紙上を以て御禮申上候

五月二日 フレスノ

夫 衣笠啓
男 同 毅
兄 同 五一
姉 同 淑子
叔父 日下生廣兵衛
叔母 同 マサオ
叔父 筒井丈夫
親戚總代 森榮太郎
同 角憲一
同 楠見又一郎
同 岡崎鶴松
友人總代 筒井嘉代藏
同 寛龜四郎
外 一同

蓼原寅之助 右の人の住所知りたし ユーター州 日米新聞社

死亡廣告

故 藤田廣三郎

夫藤田廣三郎儀桑港セントラル病院に入院治療中の處藥石効なく五月五日午前九時三十分死亡致候間此段生前辱知諸賢に謹告候也

追て葬儀は五月六日(土)午後一時王府佛敎會に於て施行仕り正三時出棺ピードモント加州火葬場に於て告別式相營む可く候

大正十一年五月三日

喪主妻 藤田ふく

友人 足立繁太郎 吉富市三郎 矢幡富[illegible] 增田寅吉 內海牧[illegible] 秋谷定[illegible] 久米川[illegible] 竹內彌[illegible] 灘岡健[illegible] 木村貞男 腹巻三[illegible] 鈴木辯[illegible] 松浦く[illegible] 成富つ[illegible] 美洲櫻店員一同 神奈川縣人會 王府實業會

◆行き詰つてる日本を如何に切り開くか
通俗政治教育を普及させる　現政黨政府は無爲無能
前長崎縣知事渡邊勝三郎氏談

日本が全く行き詰つてると云ふ考へは總ての日本人の頭に泌み込んで居る以上吾等は歐米諸國の事情と施設を研究して

▼參酌し 之れを日本のそれと對照して如何に切り開くべきかを發見せねばならぬと思ふ——昨年五月、考へる處あつて斷然長崎縣知事の職を辭して漂然故國を去つて歐米列國の社會政策や教育事業を視察して來るべく來桑した渡邊勝三郎氏は十一日出帆の大洋丸にて歸朝すべく

▼冒頭し て語る「率直に云ふと日本の内閣は常に無爲であり無政策である、日本の政黨及び資本家の鼻息を伺ふに努めて居るがために何事も出來ないのである、日本今日の問題は如何にしたらば吾等日本人の子孫が世界の競爭場裡に出で勝者たる實力を養ひ得るやであり、如何にしたならば此行き詰つて居る現狀より

▼光明の 世界に乘り出し得るやであり、如何にしたならば無爲無能の日本政府をして有爲有能のものとなし得るやが緊急の問題である、教育の普及は元より基本的のものである、然し乍ら之は多くの年月を待たざるべからざる以上吾等は他の方法を取らなければ間に合はない

▼普通選 擧の實行や人民に通俗教育を與ふる事は此際最も必要なる事である

歐洲で十數ヶ國を見亦世界で一番物價の高いと噂さある米國を旅行して感じた處は全く日本の物價が世界第一高いと云ふのである、此處に於て起る問題は何故に日本だけ物價の騰貴に苦しんで居るやである、前に云つやうに日本の大缺點は政府が資本家、銀行家、大製造業者の御機嫌を損じまいとし彼等の云ふなりになつて居るのである、日本の大商人や大製造業者等は戰時中途法もない大金を儲け乍ら飽くるを知らずして戰爭中出來るだけ多額の商品や材料を買び込んだ我利々々主義の銀行家は金融の引き締めをなさずして無ヤミに貸し出した、即ち今日世界の相場に準じて物價の低下を斷行せば銀行や會社中より多數の破產者が出す事となるべきがために政府は彼等を庇護して居る、それが日本の物價が依然として高く人民一般が困り拔いて居る原因である」と

●旅行の目的は謎の露國を解く爲め
蠻貊も鬪士覺悟　今岡十一郎氏渡米

去る三日着の大洋丸にて渡米せる今岡十一郎氏は別項記載の如く今晩佛教會ホールに於て露國の種族鬪爭に就いて演説を爲す筈であるが昨日記者に左の如く語る「露國の事情に就ては從來

▼階級鬪 爭の方面のみが紹介せられてゐたが私は多年人種問題を研究してゐるので種族的に露國を解剖して見ると非常に複雜して同種族が一致團結して他種族に對抗し樣としてゐる

現在の所力及ばずして多數の小種族がレニン治下に雌伏してゐるが此は必ずしも彼等の願でないことが解る此は今度のゼノア會議で其事情が一層明瞭となつた、由來露國は謎の國として取扱はれて來たのであるが此等の種族を研究して見ると露國の將來の想像がつき從つて日本の對露策を樹立することが出來ようと云ふ目的で旅行を思ひ立つたので先づ獨逸の漢堡から近東にわけ土耳古から小亞細亞を經てトキスタン地方へも行く積りです」と

◆桑港に健實な體育會組織の運動
青小年の爲め　小圃千浦氏等奔走

桑港に健實な體育會があつて青小年の爲め體育指導、品性陶冶の任に當るべきであるのに今迄其事の無かつたのには種々な原因もあるであらうが最近

▼運動熱 の頓に膨起した、此機會を逸せず有志の間を勸誘し後援を得て強大な體育會を組織し各體團の運動部を聯合し野球やトラック運動を盛んにしやうと次代青小年の指導に十年一日の如く努力し來つた當家小圃千浦氏等が主となつて桑港有志の間を遊説し始めたが一般贊成が此種の試みに

▼大贊成 の時代であるから非常な好成績を擧げつゝある、運動の方法としては先づ贊助員を募集し千弗以上の基金を募り適當な場所の見付り次第運動場をリースし自由に野球其他の運動を練習し得る設備をする筈であるが組織を完成する爲め來週末頃各團體の代表者會を催し万事具體化する豫定であると

●金城は慘敗す
對ミラー試合　一昨夜羅府で

キャッチ、アズ、キャン式相撲でミツドル、ウエイト世界選手なる米人ウオルター・ミラー對布哇出身の邦人相撲選手池田金城の選手權爭奪試合は一昨夜八時羅府運動倶樂部で決行されたミラー對金城の

▼試合前△ に二組の相撲小選手の試合があつて多數見物人の血を沸した後で金城とミラーが悠然としてリングに現はれた時盛んなる拍手と喝采が起つた、九時十五分兩雄は取組んだ試合の條件は十分間に一勝負で前後八回爭ふ事であつた、ミラーは試合の最初より

▼攻勢に△ 出で金城は常に防禦に努めたが結局十六點對一點半の成績でミラーの大勝利となつた、當夜は約二千人の同胞が見物したそうである　——（羅府支社特電）——

●優勝試合に臨む　火の矢組　必勝を期す
▼同胞の應援希望

サター街基督青年會の年少者の組織する火の矢組野球團はエキザミナー主催にて百四十八組加入したる全桑港少年野球競技大會に於いて連戰連勝の勢を示しつゝあるが

▲其優勝試合 は愈々來る七日（日曜日）午後四時半より沿岸レーグ用の野球場レクレーション・パーク（十五街とバレンシヤ）にて強チーム、アメリカン・エーグル組と戰ふ事となりたるが此試合に優勝せばエキザミナーより運動服を寄贈の約束あり選手は必勝を期するも尙特に同胞の應援を希望する由

◆英皇儲殿下　婦人着物を　＝御買上げ
妃殿下と成せらるゝ御方に贈らせらると

御滯在中の英國皇儲殿下には本日婦人用着物一着御調製遊ばされたるが之れは母國に御歸還御婚約後御發表相成るべき妃殿下に成らせらるゝ御方に日本土產として御贈呈遊ばさるゝならんと拜せらる（五日京都發パブリツクレヂヤ通信社電報）

●土地會社事件　公判延期　來る廿二日に

來る八日桑港合衆國地方裁判所に於て公判開廷の筈なりし佐藤信忠氏訴願の農業土地所有株式會社株式取得に關する公判は裁判所側の都合により來る廿二日に延期されたり

●總領事　公判延期　六月二日となる
＝轢倒し事件

去る四月三十日の宵當地總領事夫妻を自動車にて轢倒し總領事は殊に膝骨を挫折されたるが右に關する法律家ランスバーグの備人フランク・アンダソンに係る市令第二項一千八百五十七條の違反事件は曩きに四週間の

▼公判延期 を申請し昨日開廷の筈なりしも本人の負傷も全く恢復せず出廷し難きを以て總領事よりは川崎氏を派して昨日午前十時市警察第一號法廷にて檢事マツクマンに更に公判延期を申請したるに又復四週間を延期し六月二日開廷する事を許可されたり

●在米日會で　活動寫眞
啓發運動農事獎勵に

在米日會では從來啓發運動農事獎勵等に使用する活動寫眞映寫機は他より一時借入て居つたのであるが去月廿九日開催の參事員會の決議に依り今度映寫機を

▼購入 する事と成り昨日二百五十弗を投じた携帶用活動寫眞映寫機が到着したフヰールムは主として產業教育に關するものとし趣味涵養に資するフヰールムをも採擇し隨時各處にて活動寫眞を映寫するので不日フヰルム到着次第開始の筈

●狂人でないから　退院したい
松屋の爺さんを拳銃で脅して入院中の……　太田左衛の來狀

先般ポスト街菓子商松屋の爺さんに拳銃をつき着けて脅し桑港警察署の手を經て遂にナツパの精神病院に送くられた埼玉縣人太田左衛から救世軍に還入つて

▼悔心の 途を辿りたいと當人の知己であるポスト街一六四七東洋桂庵主秀島七三郎氏に依賴して來た右に就いて秀島氏は語る

「此の手紙にある通り當人は精神に異狀はないから退院したいと云つて居るのですが我々が見ても日常物事に非常に恐怖するやうな所がありまして耳く誰れかゞ俺を追掛けて來ると口走つて居た位で別に怪しいと思ふ程ではありませんでした然し何にしろ他人を脅迫したのだし拳銃を持つて居た事だし又警察署も妙に精神に異狀があると云ふのだからあゝしてナツパに送つたのですが精神も落着いて來當人も退院して救世軍に還入りたい意思だとすれば夫れも結構な事だから早速同軍に賴まうと思つて居ます」

と尙同人より同桂庵に預つて居る金品については目錄を作つて昨日桑港日會迄で届け出たが金は百三十二弗十一仙外にスーツケース一個併に包物一個があつた又當人の認めた手紙の全文は次の如くである

拜啓陳れば貴家益々御隆榮の段奉賀候而して小生も當院に着し荏苒消日罷在候然るべく御承知下され度候却説毎々御配慮に預り萬々御禮申上候偖て小生事當院諸氏の診定に因れば毫も精神に異狀無之との事に有之何時退院するも故障無之趣に候間先般御依賴申上げたる如く退院に關し何卒御盡力被下度奉々も御願申上候小生思ふに今後サルベーションに乞ふて信徒に加入相願ひ益々改善の途に際會せんと相所り候間願はくば救世軍に御依賴被下ては如何に有之候哉尙願はくは此の週間內御出發被下樣御盡力賜はり度萬事不惡御了承あらんことを且つ先般御依賴申置たる左の切符に因り小生（カウト）御取收め置き被下度且つ小生に關する一切の費用は小生の預金の內より御控除被下度希くは至急何分の御報告御惠みあらん事を相願ひ候委細は他日拜顏の折に任す匆々

秀島殿　　太田左衛拜

●音樂舞踏會
十二日夜七時半より　桑港社交倶樂部主催

聖公會內の桑港社交倶樂部で來る十二日金曜夜七時半よりフイルモア街二二二六タレー、サクラメント間のウエスタン・アデイションホールで

▼同胞有志 のメーバーテーを開き音樂舞踏會を催す事は既報の如くであるが昨日迄に決定したプログラムは左の如し

（一）セレネード（シユバード作）バアイオリン丹羽博夫氏セロ池田叔人氏ピアノ松永春一氏（二）モーメンドミユジカル（以上三氏）（三）エフ・メロ・デイ（ルビンスタイン）（以上三氏）（四）フレンチダンス齋藤かほる小川歌子荒井豐子井上かづ子的井まさ子嬢（五）ピアノソロ（千鳥曲に春雨）松永春一氏（六）獨唱木庭グレース嬢（七）ジプシーダンス齋藤かほる嬢（八）セロ、ソロ（デヴオーションベルセンス）池田叔人氏（九）ヴアイオリンソロ（ソリングスの歌）丹羽博夫氏（十）社交ダンス（ゴールデンゲートオーケトラ）

◆ゴルフ　…と眼障り

三度の飯よりも好きなゴルフもアチ、コチに……物云ふ花がゐては眼が散つていけぬワイ

本社東京特電
現內閣の總辭職は見合はせ
長時間の秘密會議

今夜現內閣々僚と政友會幹部との間に長時間に亘る極めて秘密なる會合催されたるが一般は此の會合を重大視し居り內閣總辭職の不確定なるものと觀測され居れり（五月五日午後九時半着電）

●運動準備委員　準備に忙殺
寄附品一千弗餘　下町運動會前景氣

來る十四日擧行の下町聯合運動會の準備に於てグランド街住者會スタクトン街住者美術雜貨商組合協和學園關係者下町青年團等を代表する委員一昨夜協和學園に會合協議せる結果賞品審判接待餘興等十二係を設け百五十二名の

▼委員を 選定依賴することにせりと尙準備の模樣を聞くに婦人を特に優待する目的にて婦人向の籠技婦人丈の福引婦人を主題とする場內撮影の素人寫眞懸賞競技等を催す由又寄贈品は千弗以上にも達する勢ひにて整理次第發表し同時に二三日間協和學園ホールに陳列すべしと

●社會問題講演會　本日午後八時よりパイン街佛教青年會主催にて同教會ホールに於て社會問題に關し左記諸氏の講演行はれる新たに故國より來任せる開教師樹心院異道氏司會すと

種族鬪爭より見たる革命のロシヤ　今岡十一郎
貧民窟より見たる東京市　三谷此治
反過激主義　ベネヂツク博士

●被告辯護士の邦人痛罵
證人四人出廷　太樂事件の公判

モデスト上等裁判所に於ける邦人追放の太樂事件は昨日も續いて公判開廷され四人の當地のセリフ並びに警官に就いての審問あり尙

▼被告に 就いての辯護士の種々の辯護ありたるが殊に主任辯護士は同胞の勞働者の群れる米人の農園を荒すとて非常な熱辯を振ひて痛罵を浴せた

●川守田牧師講演　目下長老敎會年會を當市ポスト街基督敎會に於て開催中なるが今六日夜八時より同敎會に於て『基督者生活根本義』の題下にて川守田牧師の講演ありと

本社東京特電　（五月五日午後二時着）
◆夏場所新番附發表
土俵を退いた三人の花形力士
▼久し振の東西入換り

東京大相撲大正十一年夏場所番附は左の通り發表された前場所に優勝した源氏山以下の舊西方は規定通り東に廻り、栃木山、大錦兩橫綱を始め出羽海一門を中心とする舊東方は西に廻つた春場所の番附と對照すると次の如くである

▼東の方

	（新）	（舊西の方）
大關	源氏山	源氏山
關脇	若葉山	若葉山
小結	矢筈山	矢筈山
前頭	太刀光	鞍ヶ嶽
同	清瀨川	大戶平
同	三杉磯	三杉磯
同	鞍ヶ嶽	紅葉川
同	陸奥の山	清瀨川
同	阿久津川	琴ヶ浦
同	紅葉川	小牛田山
同	白岩	太刀光
同	朝見藤	阿久津川
同	太刀海	黑瀨川
同	琴ヶ浦	藤の川
同	大戶平	阿蘇ヶ嶽
同	小牛田山	陸奥の山

▼西の方

	（新）	（舊東の方）
橫綱	栃木山	大錦
大關	常の花	常の花
關脇	大の里	大門岩
小結	大門岩	大の里
前頭	鶴ヶ濱	福柳
同	福柳	東雲
同	光風	兩國
同	若常陸	鶴ヶ濱
同	東雲	九州山
同	兩國	司天龍
同	司天龍	友の浦
同	綾錦	浦風
同	常陸島	對馬洋
同	阿蘇ヶ嶽	駒泉
同	伊吹山	光風
同	友の浦	常陸島
同	高の山	綾錦
同	對馬洋	伊吹山
同	柏山	若常陸
同	綾鬼	高の山
張出橫綱	大錦	栃木山

	（新）	（舊）
同	能代潟	朝見藤
同	藤の川	白岩
同	小野川	宮城山
同	射水川	太刀海
張出關脇	千葉崎	千葉崎（張出大關）

▼勇退三力士

浦風●多年國技館の花と謳はれた浦風●黑瀨川、駒泉の三力士は名殘惜しい土俵から隱退した、浦風は前名小松山、其前名の浦の濱時代には今回同時に勇退した黑瀨川と共に國技館切つての好男子として盛んに紅裙連に艶名を謳はれたのみならず

▼兩力士 とも三役を久しく勤め、浦の櫓、黑瀨の投げは敵手を頻りに苦しめた、駒泉は死んだ駒ケ嶽の秘藏弟子で懷が深く叩き込みを得意として是れも多年現西方の中堅であつた、三力士が今老朽として土俵から退くを見ては坐ろに今昔の感に堪へない

▼重なる異動

新東方で特筆すべき番附面の變動は前場所に幾多の殊勳を奏した太刀光が七枚を飛んで前頭筆頭に昇進したことである、彼れは太刀山の秘藏弟子で今は高砂門下第一の俊才だ、實力に於ては三役に居る三人と選ぶ所はない彼れと同僚の鞍ヶ嶽は筆頭から四枚目に落された、而して今場所は胃病で中日まで出勤出來まいとは殘念である、太刀光に次いでは陸奥の山が異常の昇進をした、新入幕は能代潟と歸り新參の小野川とである

▼新西方 では三役の大の里と大門岩とが地位を轉倒したけれども皆好成績なので前場所の第一の好成績者たる鶴ヶ濱は僅に三枚上つて筆頭を得たに過ぎない此怪力士は場所前の稽古に怪我をして東方の鞍ヶ嶽同樣中日で出られないとは氣の毒である其外には張出橫綱の栃木山が正橫綱となつた位で別に特筆すべき異動はない阿蘇ヶ嶽は又も舊西方から新西方に廻れた新入幕は柏山と綽鬼の二人である

▼老寄襲名五人 大の高、釋迦ヶ嶽、逵の矢、八甲山、若湊の五名は年寄となつたが孰れも前場所から土俵を退いた力士達である

天下一品　［大印麴、味噌は申すに及ばずウムシ米も迅速に配達に應じます］　電話ウエスト三三八六　1534 Post St., S. F. Calif.　大商會

櫻府　五月十三日（土曜日）午後七時半より　第七街舊グラント座にて
須市　五月十四日（日曜日）午後七時半より　東ワシントン街朝日座にて
史劇『俊寛』全三幕六場
主催　加州大學日本人學生倶樂部

牛すき、御飯　いろは　桑港ラグナ街一五〇〇

日曜日休業廣告
弊組合は當米國の善良なる習慣美風に從ふの精神と本年內桑港に百有餘の各種團體の大會開催せられ米國各地より數百萬の外客を迎へんとするに鑑み從來日曜日も半日開店致居候處來る（五月七日）の日曜日より午前午後共終日閉店休業可致候事に組合に於て決議仕り候間此段御得意樣各位に謹告仕り候也
追て日曜日の御入用品は土曜日午後十時迄に御用命仰付られ度願上候
千九百廿二年四月卅日　桑港日本人食料品小賣商組合

御食事　大勉强　▲特別鮮魚すき燒　▲並に牛鳥すき燒　萬丸亭　グラント街五四六　電話ドグラス五三三六

發展會の意を表する　下町萬丸亭　純日本料理　美味、安價で　迅速な紳士的　御食事　グラント街五四六　電話ドグラス五三三六

實用英語學校（千九百二年創立）　Misses Coleman & Lloyd　2905 Bush St., Near Lyon St., S. F.

大安賣　金物一切　大工道具　ケツチン道具　日本土產各種　桑港ポスト街一八五五　土屋商會

シンガーミシン　桑港ポスト街一八〇七　電話ウエスト七三〇三・フヰルモア一九九七　みとま

元吉寫眞館　桑港フヰルモア街二〇〇九半　（電話）店ウエスト一〇五四　住ウエスト五九三〇　（毎月第三四金曜日休業）

森山寫眞館　桑港サター街一七九七　電話ウエスト六一五一

日本人に親切な公證人　A. K. DAGGETT 代書人　事務所 電話 Douglas 40　30 Montgomery St., S. F.

▲新派晴友會青木譽志夫一行▼　辯士 辻岡風波　秋田遊民　女辯士 松葉美佐子　三味線 木村宗雄　吉野家久子　申込所 加州公認 桑港興行會社　ゲーリー街一五〇五電話ウエスト八七六八　支配人 輿定吉　活動寫眞部

御祝儀　佛事用　菓子司　富士見屋　桑港ラグナ街一六〇八

名醫紹介　東西社　原田惟一　ポスト街一八〇七電話ウエスト七三〇三

よもぎ餅　かしわ餅　御菓子　勉强調進　御菓子司　桑港ポスト街一六九九　電話ウエスト五三六六　松屋

谷靴店　新荷到着　修繕部　販賣部　大勉强　ゲリー街一五〇九　電話ウエスト八七五五

桑港フヰルモア街一四三七　◎引延　◎進呈　電話ウエスト八六五〇　吉里寫眞館

再開業（四月廿二日より）　藤井理髮館　理髮師入用　藤井榮　桑港ブキヤナン街一六〇一

男女特製靴小供靴各種　パナマ靴商會　桑港ポスト街一七一七　王府サンパブロ街一八五三

マクリー石油株式會社　總代理店 チノーコンパニー　事務所桑港カリホルニヤ街二四二電話ガーフヰルド三一六〇　日本人部總支配人 佐伯重秋　南加總代理 兒島正義

各種最新式（モーターサイクル、自轉車　小供乘物車並に附屬品一切）販賣修繕　輸出卸小賣　部谷自轉車商會　桑港市ポスト街一八二四　電話ウエスト八三九六　（住宅電話）ウエスト二四四〇

和洋食料品雜貨　株式會社新亞細亞商會　桑港ポスト街一六九五　電話フヰルモア一二七九三

ニユー・ウエスト・ホテル　各室內に湯水　入浴の設備有　桑港カーネー街八百三十三　（電話ガーフヰルド三〇）　森下

Ⓑ　かしわ餅　御祝、佛事用　並に卸小賣　勉强堂　桑港ゲリー街一五三三　電話ウエスト七五三七

大河原法律事務所　T. Okawara Hearst Building San Francisco, Tel. Sutter 3127

シンガーミシン　一日十仙たやすく買へます　◎ヘムステツチ……五仙ヤード　桑港ブキヤナン街一七一五　電話ウエスト四〇三七　太田商店

カ子正味噌糀

藤本商會　桑港タウンセンド街一四一〇　電話カーネー三三一九

中山法律事務所　電話フヰルモア二九一一　T. G. Nacayama L. L. B.　1562 Webster St., S. F.

醫科大學專門教授紹介並に通辯、大學病院入院及び大手術監督等遺憾なく懇切に取扱申候　桑港ブキヤナン街一六四四　電話フヰルモア四六二　門野普光　1944 Buchanan St., San Francisco, Calif.

ロスアンゼルス（四日）

●日毎に殖へる野菜果物店

▲結局双方の損失

最近地方農況の不振より市内に轉住するもの增加せるは何人も認むる處で其結果日本人の如き小資本を有するものには比較的有利なる洋食店並びにグロサリ業等に着手するもの續々現はれ各種市内營業の賣買頻々たるは甚だしきものにてホテル業の近來非常の高價に取引さるゝより投資容易なる野菜類小賣店に手を染むる者俄に增加し上町住宅區域に於ける

▲同胞經營者 も數ケ月前より增加しブラッタ内に一軒ありしもの今は數軒を見るに至り茲に需要供給の不均衡となり止むなく各商店は競爭の外なきに至らんとする傾向を示せるが斯く同業者の頻出を見たるは該業の比較的有利なるより附近需要者の程度を省みず空屋あれば之を借入れて營業を開始し邦字新聞廣告並に周旋業者を介して投資金の數倍に賣却し一度此の味を占めたる者は再び同一方法を運らすと云ふ段取にて營業を目的とせず世人の注目するを機會とし

▲營業賣買を 目的として開店する傾向を生じ今日の如く多數同業者を見るに至れる由なるが若し此の勢を以て更に此の上の增加とならば單に一二新開業者の損失のみならず從來營業せる人々も共に多大の影響を蒙り同胞經濟界の大損失を招くものなれば前後の考慮もなく有望なる事業なりとて妄りに開業するは大に警戒せざる可からず

●散港學校運動會 イースト・サンピドロの公立學校にては六日午後一時より同校運動場に於て大運動會を催ほす事となれるが同校は八十名の通學兒童中日本人六十名の多きに達し居り公立學校とは云へ殆んど日本人學園の如きものなれば同胞父兄も大に力瘤を入れ是非共盛大に催はさしたしと種々の寄贈品をなし又同地婦人會も之れに與を添ふべく計畫し居れり

●諸願書々式一覽表 南加中央日本人會にては各地日會より幹事の更迭其他の場合諸願書々式に對し問合せを受くるより今回是等諸願書々式の日米兩國に對する凡てを網羅し一覽表を作製して各日會に送附し置き幹事更迭の場合等一々問合せの面倒なき樣各日會幹事のため便を圖らんとする由にて先づ其參考として各日會が現在使用しつゝある各願書の式を取り寄せ領事及び米國官憲等の意見を集め近く作製する方針なりと

●白衣團審問延期 三日を以て開廷の筈なりし白衣團に關する郡大陪審官會議は五日に延期されしが巷間傳ふる處に依れば郡檢事局が千餘の會員に對し告發をなし根本より掃蕩せんとする方針に多少變更をなし或は檢擧を中止するやも知れずと

●第一學園休校 四日午後三時本願寺佛教會に於て第一學園教師牛山克躬氏の葬儀執行ありしを以て同學園は弔意を表するため一日休校し生徒及び職員は何れも會葬したり

●馬に蹴られて死亡 アナハイム農業家和歌山縣人中村政太郎氏は日曜午後使用中の馬のため胸部を蹴られ早速入院應急手當を施したるが月曜日死亡三日本願寺にて葬儀を營みたりと

●周旋業者組合 當市日本人リアルエステート業者は三日三光樓に第二回集會を開き南加リアルエステート組合なるものを組織しホテル業者と提携して不正分子の頻出を防止するに決したりと因に過般中央日會より發せる警告文中『惡周旋者云々』の字句ありこれが爲め他の善良なる同業者の誤解あるゝ憂ひありと湯淺會長に申込みし處同會長は一二同業者の不正者あるは事實なるも此の爲に他に迷惑を及ぼすとせば善良なる同業者のために十分辯謎の勞を採るべしと約し同業者一同も大に諒解し安堵したりと

●新殖民地經營

▲クリヤカン市附近 オレンジ郡の老農加藤、鹽谷兩氏及び過去廿年間墨國シナロア州クリヤカン市附近に於て醫術開業のドクトル中園氏等發起のクリヤカン日本人殖民會社經營の計畫熟し同地に五千英町の土地を購入し之れを希望者に分配する由なるが同殖民地の長所と認むべき點は中央政府が開鑿の水道近く完成する事とユスピー鐵道線が其の中央を貫通し居るの二つにして

▲耕作物 はカンタループ、トメトー、ペッパー、胡瓜、ライマビーンス、外野菜類及び米作等にして之等の生産期は南加州に比し平均して一ケ月早く出荷し得べく將來日本人の發展地として大に囑望され居れり

フレスノ（四日）

●デラノ支那賭博場と同胞の決意

▲檜木君の苦境

デラノ在留同胞は先に同地に排日立退事件起りし以來何れも氣分緊張し一面に於ては互ひの行動を愼み他方に於ては地方的日米親善の實を擧げんとて既に期成同盟會を起せる次第なるが豫て剛骨の聞えあり米人キャンプのボスなる鹿兒島縣人檜木氏の新築に係る家屋が支那人に貸し渡され賭博を開かんとするの虞あるより同地日本人間の問題となり檜木氏に對して之れが說明を求むる者あるなど可なり面倒を極むるの外該家屋の建築費はベーカスフィルドの支那人より出て居れりとの風聞も傳はり旁々檜木氏は頗る苦境に立ち居る模樣なるが氏が該家屋を支那人に貸したるは彼等支那人が賭博を開くものなりとの豫想を以て貸したるものにあらざるは自から商店を開く方針にて尾形外數氏に相談したる所寧ろ此際支那人に貸すがよからんとの事なりしを以てリース契約を結びたる迄に付支那人にして若し賭場を開き日本人一般の風紀を紊亂する樣の事あらば檜木氏は自から損害を期して斷然支那人にリースの破約を申込む旨言明したる由依て同地の同胞は該家屋に這入りたる支那人の行動を看視し若し賭場を開きたる場合は檜木氏自から斷乎たる處置を採るべきを信じ一先づ傍觀的態度を採るに決したる旨ツラレ日會關係者より確聞したり

●體育會と英字紙 本日の當地夕刊ヘラルド紙は過日我社の主催せる野球大會に於て布市體育會が全勝せる記事並びにプレーヤー一同のカットを掲げ尚は七月四日にはシャートルの野球團其他を當地に招待し一大競技を催ふす旨を報じたり

●日本人に依賴 バイセリア市のアーレン判事發起となり昨年より少年子弟訓育の爲め奉仕週なるものを開始し本年は其第二回開催を來る九日より十五日まで行ふ由なるが同判事より日本人側に對し此催ふしを助くるため九日より十一日までの間に日本人部野球部を同市に出し米人チームと競技して貰ひたく又同地公會堂にて日本婦人若しくは少女のダンス若しくは音樂等を催ふして貰ひ度き旨依賴し來りたる由にて多分坂本節吾氏方の野球部員出場する事となるべく婦人少女の方は今の處出場するや否や見當つかざる由

●野遊會決定 布市日本人野遊會場はブラックストン道路を九哩行きプラスキー道路に入りて四哩行きたる處筒井嘉代藏氏ランチの上手と決定したる由なるが當日は各沿道にボーイスカウトの案內ある筈

●學生演說代表者 來る七日加州大學日本人學生會に於て演說會を催ふすに就き布市學生會を代表して渡邊氏を出演せしむる事に決定の由

●椢田氏開業免狀 天賞堂の椢田藥學士は一昨日加州政廳より開業免狀を下附せられたる由

●出張說教 京極開教使は來る五日午後七時半よりオレアンダ奥田氏方に又宮田開教使は六日午後七時半よりキングスバーグフレンバキャンプに於て何れも出張說教を爲す由

●當選番號 天賞堂四月中の福引當選者は一三四四なりと言ふ

日曜の諸教會

◎美以教會 午前十時日曜學校同十一時禮拜說教「平常道」廣田牧師午後八時エポース同盟「西洋の使竟」廣田師▲地方日曜學校マデラ午後二時リードレー午後三時パレヤ午前九時半セルマ午前十時フエアビル午後二時

◎佛教會 日曜說教午後八時「救濟の三方面」京極開教使▲地方集會マンモス午後二時日本ホールにて京極開教使セルマ午後七時日本ホールにて宮田開教使ボールス日曜學校午後一時

オークランド

●野遊會 王府の有隣俱樂部は明日曜日午前十時よりカンツリー俱樂部山手にて野遊會を催す由出場所はラックリッヂ電車の終點の向つて左側の小丘にシンカレヂ街オーシャンビューツライブより東北に向つて十町登山したる處目下委員を擧げ準備中の由

●切開手術 王府丸林氏のミセスは盲腸炎にてセントラル病院に入院し切開手術を受けたるが結果良好なりと

●來王府 四日より王府獨立教會に於て開催され居る太平洋沿岸組合教會年會に出席の爲め羅府の小川、サンタバッラの白石、河畔の清水諸牧師、羅府の平信徒清水氏等來王目下フランクリン街草野ホテルに滯在中

●王府佛教會記事 王府佛教會婦人會は明日曜午後四時より本年度の總役員會を開催する由同日午後五時より同教會役員會を開くといふ

●說教會 麥嶺自由美以教會にては古田濱三氏主催となり來る十日午後八時說教會十一日午後二時婦人會同日午後八時半家庭集會を催す由又サンロレンゾ在住篠田熊一郎氏主催となり十二日午後八時說教會十四日午前六時早天祈禱會同日午後四時禮拜說教聖餐式十五日午後八時家庭集會を催す由なり

●母の會 明日曜日に開く筈なりし王府母の會は第二の日曜の日に延期開催する事に成りし

●亞市體育會慰勞會 本社主催野球大會に灣東西を代表して參戰したる亞市體育會は今日午後七時より會長兒野氏宅に於て同團體關係者一同の慰勞會ある由なれば出席を乞ふと

●小宮商店大安賣 亞郡マウントエデンの小宮商店主は歸國の爲め今日より向ふ二週間商品全部を大格安にて賣捌く由

●寄附 王府南美以教會の家城氏は誕生記念として二葉學園へ金十弗を寄附

日曜の諸教會

◎參嶺美以教會 午前十時日曜學校午前十一時十五分禮拜說教題「能力に依らず我美に由るなり」植山牧師 午後七時半音樂部集會午後八時傳道說教モントレー爲老教會小北牧師

◎王府南美以教會 午前十一時日曜學校同時聖書講義アピス博士午後八時禮拜說教アピス博士

◎王府美以教會 午前十一時「信仰の試錬」鵜浦牧師午後八時青年男女の爲英語集會を催す

◎王府佛教會 午後一時日曜學校「可愛い小女」水谷開教使午後三時日曜說教

◎參嶺基督教會 [illegible]「學者の鍵」水谷開教[illegible]

◎參嶺佛教會 午前十時[illegible]

◎王府獨立教會 朝十[illegible]

モントレー（三日）

●山本商店移轉 [illegible]

●乘合自動車 [illegible]

●運動會 鮭漁活況[illegible]モントレー青年會[illegible]相撲[illegible]

●寄附 兒玉節二氏金十[illegible]寄附

●小女を治す 小兒の生育には勢力が必要なり長引く風邪は動もすれば重患に陷る Mrs. A. Flint [illegible] の來狀には [illegible] は娘の惡性風邪を治 [illegible] 遠く及ばざる所以を [illegible] 一切に用ひて奇効を [illegible] 藥店に販賣す（五）

大至急ボーイ募集

砂糖大根間引開始
耕作面積五千英町以上
ピースウオーク高賃金を拂ふ
仕事は順次に永續す婦人向きの仕事
澤山あり

福田壽平 P. O. Box 157 King City, Calif.
岩切兵藏 R. F. D. 73 Soledad, Calif.

墨國ロスモチス
冬期野菜之特産地
フロリダ農園
日本人殖民地
羅府 谷越堀合名會社
105 E. FIRST ST. L.A. CAL.

灣東商會

大河原法律事務所
布市 T. Okawara 635 E St., Fresno, Calif. Tel. 497-J

布市 ウエスターン・ホテル
551 F St., Fresno, Calif.

美術裁縫女學院 生徒募集 加州公認 和田靜子

中加裁縫女學校 末川藤枝

柏餅賣出し 富士屋菓子店

吉田德助保險事務所

産婆 木原道子

保險附種子 北澤商會 KITAZAWA BROS. 173 Jackson St., San Jose, Cal.

一二階堂くら子

保險金一萬弗 中澤茂十郎
紐育生命保險 保險金領收

田中雀一

保險 河本源吉 P. O. Box 66 Selma, Calif.

瓜人夫募集
旅館案內 ローモナ旅館 旭館 主人 小宮茂三郎

皮膚病 妙藥

成富産院
小川時計店
武田産院
橋本醫院
栗川鶴雄
齒科醫師 矢幡富藏
犬飼猛
堀田産院
辻寫眞館
産婆 山崎シモ
重富寫眞館
美洲樓
阪元齒科醫院
羅府支社
齋藤齒科醫院

南加日本病院
小林診察所
平田篤次
中村法律事務所
篠原眼科院
古澤醫院
深澤齒科醫院
唐木保藏
自動車學校
布市支社

ALL UP TO DATE
橋場病院 X光線、手術室、病理室、病室

安平産院
入院隨意
獨逸紙幣賣捌 中加投資社
フレスノ勸業銀行 949 F Street, Fresno, Calif.
羅府帝國ホテル

養老保險 小野助四郎
溫泉
新刊書籍到着 佐藤書店 Sato's Book Store 341½ E. First St., Los Angeles, Calif.

フレスノ齒科醫院 白山紀一
湖月堂
日本病院 FRESNO HOSPITAL Fresno, Cal. 935 E St.
部谷書店
倉谷滿子
江田産院
藤森治療所
無藥治療
芹野
ジョーヂ寫眞館
三浦産院
松本兄弟書店
御菓子調進所 柏屋
村山病院
村尾練志
楊鏡波

スタクトン（四日）

●桑港大商人連の交驩旅行　十二日當市訪問

桑港商業會議所の肝煎りで同市知名の實業家百餘人の觀光團を組織し來る十二日當市に乘り込み順次附近の町々を歷訪する筈で其準備の爲め今日リート氏が代表して來須し當地商業會議所と種々打合せをした本團の最大目的は地方商人と個人的交驩を爲し以て桑港と地方との商業關係をヨリ密接にし度いと云ふのにある其れ故今回は一切賣子や注文取りを其中に交へず單に一家の責任者丈けを撰り拔いて來るとの事であるから今後の取引上にも一新生面を開き必らず好影響を及ぼすだらう

●玉葱市場好望　▲テキサス物は▲過半數出荷濟

テキサス州の新玉葱が先週來毎日の樣に騰貴して居る事は昨紙にも報じて置いたが今日の電報に依ると益々好氣配となり上物は一クレート二弗五十仙を突破するに至つた去る木曜日迄に同州から出荷された全貨車數は二千四百五十二に達し全生產豫想四千四百十八貨車に對し半數以上が送り出された譯で昨年の今頃と比較して其賣れ行きのよい事は御話しにならない其近因は勿論南部諸州の洪水や昨年からの殘品が殆んどないからであるが輸出向きの需要の增加した事も大原因を爲して居る今試みに昨年の今日迄と今年の今日迄の玉葱輸出高を比較して見ると昨年の二千二百九十三貨車に對し今年は三千百四十八貨車卽ち八百五十五貨車の增加を示して居る此調子でコーチエラ產や帝國平原產が賣れ行けば次ぎに來る當地方の早物も或は意外の好相場を持續するかも知れない

●野球試合　來七日の日曜日に櫻臺野球團はベンソン野球團を迎へて交戰する事になつた須市軍も何處かで接戰し度くて腕が鳴つて居るが未だ適當の相手が見當らないで目下交涉中

●長岡子息狂犬に嚙る　市內錦帶堂主長岡氏子息は一昨々日自轉車でポプラー街とエルドラード街角に差掛りたる際狂犬に嚙まれ人身不省に陷りたるを白人に助けられて收容病院に運ばれ應急手當を受けたる後ち歸宅療養中なるが經過良好であると

●比島人示談申込　去廿五日キング嶋六番に於て比嶋人に刺されたる加藤氏の經過は稍良好にて多分一命は取止め得べき狀態であるが相手の比島人は牢獄中から人を以て示談を申込み治療費は働いて拂ふから許してくれとの賴みで大體承諾の事になつて居るが檢事は一應事件の眞相を調べた上で本件を却下すべきや否やを決すべく取敢ず明朝豫審開廷する由

●退院と入院　過日入院したる大島氏ミセスは退院し自宅療養中▲タエブ島八番愛知縣人橫井氏ミセス及び朝日園の岩城氏は腸窒扶斯にて須市病院に入院

●桑牧師出桑　桑港に於ける長老敎會年會出席の爲め出桑した桑牧師は數日間滯在の豫定

●移轉の數々　北原產院は友愛俱樂部跡へ▲京都順八郞氏は四マーケット街五〇五へ▲日本藥店時計部の月岡氏はエフエット街二〇九へ▲同日本藥店鄕田萬太郞舊桑萬兩氏は四モンロー街二一三へ以上何れも移轉

●山田氏要談　愛知縣人山田銀十郞氏に須市日本人會にて要談し度き件あり至急出頭を乞ふ

サクラメント（五日）

●農園で作業中電流に觸れ　▲同胞青年火傷す

目下デルパソ地方にてはハツプス園柱の糸吊りに多忙中なるが同地愛知縣人山內高次氏の農園に就働中なる和歌山縣人竹中市松（三〇）なる青年は去る三日の午後一時頃其糸吊り作業に熱中せる折柄農園を通じて家屋に架設せる電線に觸れしより電流は同人の身體を通じてハツプス用の針金に電波し針金の一端が同人の腰部に接せし爲一弗銀貨大の火傷を蒙りて作業中の車上より墜落して十分間許り人事不省の姿なりしを人手に助けられ最寄のキャンプに移されて應急手當を施され目下靜養中とのこと一命に別條なかりしは不幸中の幸なりと云ふべし

●白晝の盜賊　昨四日の午後市內第四街中央靴店の二階なる齒科醫松野全識氏住宅のフロント扉を錐にて外部より錠前を抉ち開け各室の扉も同樣の手段にて押し開け室內隈なく搜索して現金四十餘弗金時計指環衣裳類該額合して百五十餘弗を竊取し去りたる賊あり時刻は松野夫人外出後二時より三時迄の間なりと云へば賊は內部の樣子を知れる者ならんかと

●河下勞働者募集　河下ウオナツグローブにては目下アスパラガスの摘採に多くの農園勞働者を要し同所始めコートランド地方もチエリーの摘採期近づき益々多忙なるが目下勞働者不足を告げ居れり新聞紙上に募集の廣告を掲げ居れり

●日本人狀態調査に來櫻　日本大阪基督敎青年會主事ジョージ・グレーソン氏は日本人に關する著書も知名の士なるが當市に於ける日本人狀態視察の爲め昨日來櫻し近郊を巡視せり

●再び苺の重量に就いて　苺出荷に關し法規違反の科にて所罰せらるること頻々たれば兩三日の紙上に於ても注意を促がせしが迷惑を蒙ふるは仲買人のみならず小賣商にも及ぼすことなれば生產者はよく〳〵注意されたし重量は一バスケット十二オンス一クレーツは十八封度苺の粒目下大なれば盛高にパツキングする方可なるべしと云ふ

●平林讓一を尋ぬ　廣嶋縣高田郡根野村字下根の平林好太郞は二週間前より病氣にてアイルトンより來櫻ホワイト病院に入院治療中なりしが四日午後十二時急性盲腸炎の爲め切開手術を受けたるが生命危篤に付き友人等は其息平林讓一を尋ね居れりと

●寄附一束　フロリン八木商店主より雪子受洗記念の爲め五弗と菓子一箱を串正之助氏より菓子一箱を讚美歌壽賜寶登十弗を故義雄一週忌記念の爲めフロリン美以敎會及び附屬日曜學校へ寄附ありたさ

●竹田氏出桑　當支社主任竹田雪城氏は先日太洋丸便にて渡米せる舊師山田嘉吉氏と面會の爲め昨夕の河船にて出桑

ターラツク（四日）

●日會臨時總會　參事員及び會員に希望

愈々臨時總會（七日）も近付いた問題は既に報道した通り經費問題であると思ふそして豫算以外に全會員が十弗づゝ出資すれば從前の通り專任幹事を置ける會員中一二名此不景氣に十弗位〻重稅と云ふかも不知然し他日會に比較せば十弗位は輕い同格の同會を見よヤレ歡迎とかヤレ御祭費とかヤレ寄附と隨分多大の負擔をして居る一個の公共團體を置く以上は其位の負擔は初めから覺悟すべきである要は寄附募集の時期にある例令ば胡瓜なれ七月中に寄附を募れば必らず出來る夫れから經費補足の仕事は幹部にのみ委せぬ各參事員諸君が附近を受持て每日市場や道路で會つた際に話をせば毫も心配はないのである夫れから日會はスタニスロース郡とマセド一部の全會員の會であると云ふ事を念頭に置きて正當の議論を吐いて貰ひたい幹事專任と兼任の區別を參考の爲めホンの概略を左に述べて見る

專任●（一）徵兵免除願の際便利なり（二）コーテージ方面は今より發展するに附隨分評妻鑛洞に附諸屆に便利なり（三）子見離脫に關最も便利なる事

兼任●（一）一週一回位責任者が事務所に出勤する故萬事不便の事（二）徵兵免除者は遠方より來りても手續の出來ざる場合ありて不便なる事（三）出產死亡屆及び諸屆に關し極不便の事

サンノゼ（四日）

●當郡歷史劇上演　▲サンタクラ大學で

去る一日から一週間の間サンタクラ、市大學で當郡の歷史を劇に作つたミツションプレーを上演して居る此作はマーテンマール氏の作で百年前の歷史が面白く脚色されて居り俳優は學生も入つて以前から練習して居るので上出來であると云ふが此祭りの騷ぎの爲にカウボイやらカウガールも多數アリゾナ方面からわざ〳〵やつて來て居るので非常な人氣であるミツションプレーの立派な事は從來に前例なく爲に桑港其他から多數の參觀者が見物に來りサンタクラ、市サンノゼ市も大騷ぎ當市ではペンドムホテルで種々の催か特別に開かれると言つた人氣である因に此祭りは大學の基金募集の一であり大いに改築增築されるもの事で以前から寄附をも仰いで居る當市の太平大學は須市に亦ノータルダム大學もベルモントに移轉するのでサンタクラ、大學が一つ殘る譯である

●美以敎會記事　來る七日（日）の同敎會記事左の如しと▲午前十時日曜學校▲同十一時禮拜說敎「基督我に在り」太平大學ベネツト氏▲午後八時傳道說敎「在米所感」松岡牧師

●尙は松岡牧師は歸國に就き說敎後送別會を催す由

●木苺組合總會　サンノゼ木苺組合に於ては來る六日土曜日午後三時より組合事務所に於て定期總會開催重要事務の協議ある由なるが當日は在米日會農事部技師出張苺の害蟲病菌に關する講話質問應答等ある筈なりと

●寄附　キューパチノ瀨上巳之吉氏二弗五十仙當地日會に各寄附▲カヨテ西田丈吉氏五弗▲當市大竹秋子夫人は佛敎會に十弗寄附したりと

サリナス（四日）

●種痘日割　サリナス日本人會は例年の如く左記の日割にて種痘を行ふ由なれば最寄便宜の所に參集せられたしと

五月十日午後三時より四時迄キャストロビール矢口氏方
同日四時二十分より五時迄ブランコ矢野氏方
十一日午後三時より三時半迄エゲンダ白尙茂平氏方
同日四時より四時半迄同所林伊兵衞氏方
十二日午後二時半より四時迄市內日本人會事務所
十三日午後三時より四時迄オーダクローブ苺園山本氏方

●川守田牧師　は桑港に於ける長老派年會に出席の爲め今朝出桑北與三吉氏は敎會を代表し同行せり

尋人　平林讓一

廣島縣高田郡根野村字下根　父好太郞儀急性盲腸炎の爲め四日午後十二時切開手術の結果生命危篤に付大至急下名迄來れ

五月五日　平林玖一　宗藤助一

84 Japanese Alley, Sacramento, Calif.

御禮廣告

小生入院中は御親切に御見舞被下難有奉謝候以御蔭全快退院仕候間御放念被下度午略儀以紙上御厚禮申上候　ロータイ　加藤信郎

櫻府第三街一二一〇　イーノ藥店　櫻府支社

櫻府エム街四三一　電話メーン二九四七W　醫師　武田正夫

櫻府第二街千二百十五　食料品金物類　いなか商店　電話メーン三一三一

櫻府第三街一二一五　電話メーン一二六五W　黑河寫眞館

第三街一二〇六　電話三二二三J　日本寫眞館

櫻府第三街一二二三　川崎　貸自動車

竹本藥店內　トメト苗ペッパ苗各種販賣　東櫻府花屋

櫻府公認產院　山浦なつ子　小林ひろ子　宮崎あひ子

生命　片岡貫一

神經專科　無藥治療　神經調整術に依り血液の循環を完全ならしめ諸器管の衰弱を回復し病原を根治す（藥湯電氣治療）神經醫學校卒業　鹽野療院

吉田寫眞館

唐津德光

ライオン藥店

株式會社　日本銀行　櫻府エル街　電話メーン一〇八七

家具　大和家具商店

公債賣買　獨逸紙幣賣捌　中谷十一

東西商會　吳服雜貨

松野齒科醫院

玉川堂　御祝儀餅　蒸菓子煎餅　卸小賣一切

葬儀社

櫻府佛敎會近く仕事は上等と親切丁寧、迅速、安價を旨とし日本人諸君の爲め業務に勉勵します

モーリス・エス・タゲット

寫眞

最新式永久不變色（イリノイス寫眞大學に入學せんとする人の爲めに準備敎授を與ふ）

櫻府第四街一二〇五　日本銀行の二階　電話メーン二二七九　進藤寫眞館

日本鳥屋

谷本商店

支那御料理　和歌の浦　新開業

Victor　五月五日着荷新レコード案內

▲浪花節　南部坂雪の別れ　東家樂燕／慶安太平記續三枚　木村友衞／大石廓通二枚續　龍男齋虎丸／橫川勘平　篠田實／大高源吾二枚續　吉田奈良丸／越後騷動上下　木村重友／水戶黃門記二枚續　廣澤菊春／大石山科歸り上下　小奈良／勸進帳上下　天中軒雲月／葛の葉子別れ　東家樂松

▲端唄、小唄　海晏寺、編笠節　初子／磯節、越後追分　町子／木曾節上下　オ三、靜子／博多節、大津繪　とみ子／安來千軒　絲子／さのさ節　絢子／金山節　つる、かや／鎗さび、御座附三下り　圖若／大津繪、二上り　万年／壯士節　四七子

▲書生節　松井須磨子の唄　松聲／七里ケ濱仇浪　白涙、春陽／オペラン〆　楓谷／きた旦那さん節　完保、靜代／緣は異なもの　白涙／電話節　紫雲

▲唱歌　私の商賈　暸月／白菊（商船學校）　秋峯／乃木大將　マス子／君が代、螢の光　文子／ダリヤ、お山の鳥　みどり／雷機、青葉、福助　恒雄／職友　文子

▲義太夫　新口村　呂昇／鎌倉三代記二枚續　古勒太夫／壺坂寺二枚續　錣太夫／琴歌（朝顏日記）　源太夫／本藏下屋敷四枚續　靜太夫

▲詩吟　楽兒、殘月、孤軍　薰水／南鄕、常盤御前　翠濤

▲獨唱　復活　圓鑑子／庭の千草　松井須磨子

▲筑前琵琶　那須與市二枚續　高峰筑風／長良堤同　豐田旭穰

▲薩摩琵琶　本能寺三枚續　永田錦心／吉野落二枚續　岩見錦浦／辨の內侍　足立麗光

▲新曲、柴笛　新曲奴さん活惚　音樂部員／柴笛子守歌　吉岡秀三郞

▲ラツパ　諸禮式　陸軍喇叭手／營內營外日課　同

▲每月發行の新目錄（御一報次第）無代送呈す

加州サクラメント市第四街一二二九　電話メーン三九三五M　青木蓄音機店　GIICHI AOKI P. O. Box 140 Sacramento, Calif.

豐作　仕事開始好待遇賃金高給　バカビル　日本人會農事部

櫻摘　人員百名募集

ユバシテー　スケーナ櫻園　五月七日開始　パーキングに婦人入用（高給を支拂ふ）

メリスビル市　東洋旅館　郵函一三六　電話七五九

鹿兒島旅館

須市ホテル讓受改稱▲ボーデング業經營▲大勉強　球場其他娛樂場設備あり　經營者　中釜早太郞　須市東マーケット街一二四　電話七三一

株式會社　オークー家具商會

櫻府エル街四二一　電話メーン四八七〇

櫻府旅館組合

隆辻便利社　紀伊商店　サクラ藥店　安藝旅館　備州ホテル　防州旅館　千歲旅館　圓光　富士見　富士　藝備旅館　廣島旅館　細川旅館　岩國屋　佐日屋　蛇の目ホテル　日の出　川村旅館　九州屋　釜城屋　南海屋　西村旅館　浪花ホテル　岡山旅館　敷島旅館　仙臺屋　竹本旅館　宇土屋　陽明館　武田旅館　大島屋　日本館　大北館

靴　櫻府角屋　洋田商店

櫻府第四街一二一八　柴太郞

東京帝國大學醫學士　石井醫院

加州公認　內科、外科、小兒科　婦人科、皮膚科　春木醫院

ホワイトホテル

醫學博士　吉永端三

崎山商店　竹本藥店

佐藤齒科醫院　廣嶋商店

岩本齒科醫院　吉村商店　宮崎醫院　小田醫院

須山支社

內田醫院　內田貫助

石川醫院

江頭豆腐店　久世產婆

須市旅館業組合　パナマ　サツマ　紀州館　廣嶋屋　肥後屋　日本旅館　豐明館　加州館　愛知旅館　中嶋屋　南海屋　福岡屋　安藝旅館

工藤齒科醫院

木村シンガーミシン店

竹本魚店　金帶堂藥舖

秋本研介

國井時計店

西岡ハルヨ　北原產院

岡本醫院

大塚產婆

高橋商店

西村產院

安樂心

花屋

金物　STOVE　厨具

ヴァレー材木店

廣島屋

中國商會

バーラント葬儀社

中原齒科醫院

生命保險會社代理　木村保險事務所

FOR AMITY BETWEEN
AMERICANS AND JAPANESE

The Japanese American News

ENGLISH EDITORIAL PAGE
SATURDAY, MAY 6, 1922 No. 8078

Rights of Japanese Upheld.

IT WAS IN OCTOBER, 1920, that Mr. Hayao Yano petitioned the Sutter County Superior Court for guardianship rights to the farming land of his daughter in Butte County, said The Japanese American News in Japanese last Wednesday. This land had been purchased by the child's grandfather a year previous. The Superior Court of Sutter County denied the petition. The case was appealed the following January to the California Supreme Court. That tribunal handed down a decision last Monday.

This decision declares for the Japanese residents of California the rights proclaimed by the Constitution. At the same time it declares invalid the new alien land law, passed by the Legislature in 1920. This decision is very pleasing to us, for it confirms our assertion that we were subjected to harsh treatment by enforcement of the law.

This fair decision gives us further reason to believe that it is not right to ask the home government to intervene, no matter what the Legislature of California may legislate with a view to suppression of the Japanese residing in this state. It shows us that we must fight our own battles, standing on our rights as guaranteed by the Constitution. This one incident proves clearly that our government pursued the right policy. Japanese officials and other prominent persons who are not familiar with the truth regarding America, and particularly California, should be enlightened by this decision.

Anglo-Saxons have the utmost respect for constitutions; they consider a constitution far more important than politics or diplomacy. They fight for a constitution and stand on it. It is this sort of a fight—a constitutional fight—that they respect, and any one who wins an issue on this ground will find himself bothered no more.

The opinion says that under the alien land law the object sought to be obtained is to discourage the coming of Japanese into this state, "but this entire question is international in character and is a matter to be disposed of by the federal government."

This is very sound and clear reasoning. It shows us that such legislation as this anti-Japanese land law is not permissible under the Constitution.

Chief Justice Shaw and the majority of his colleagues showed unmistakably by their summing up that they strongly adhered to the belief that the alien land law violates the treaty between the United States and Japan; that the law denies to a Japanese parent equal protection under the law, contrary to section 1, article 14 of the Constitution of the United States; that the law denies to the native-born Japanese child the privileges guaranteed by section 21, article 1, of the Constitution of California and the privileges and equal protection secured by the fourteenth amendment. We have the most profound respect for these judges for the courage and wisdom they have shown.

If they were to consider, however slightly, the approaching election, in which they must do something to keep themselves in office, they might seek to curry favor with the masses by handing down the sort of decision that would make a mob appeal. But they disregarded themselves and their own political preferment completely and discharged their duty with a thought only for their own official obligations and points of law at issue. They followed the dictates of their conscience.

Such action shines brightly. Each member of the court has reason to be proud of himself. It shows that Americans are faithful to their Constitution. Here is a great object lesson for us. We must make the most of the rights guaranteed to us, and we must at the same time discharge faithfully any obligations imposed by those rights.

Senator Inman, head of the Oriental Exclusion League, says: "Our only recourse is to watch carefully every report made by Japanese guardians holding land in the names of native-born children, and seeing to it that the land is honestly administered for the benefit of these children."

This is very proper. As guardians, we shall never abuse the trust placed in us. And we must bear in mind that the purchase of land for the benefit of our children and its faithful management is the best means to the future happiness of our second generation. If we fail in this one particular, our own future will be dark.

Supposing that by our actions we were to show a lack of the first essential in the spirit of obeying the laws and the Constitution. Then no nation would welcome the Japanese. In this respect a great responsibility is placed upon our shoulders.

The decision does not invalidate the alien land law in its entirety. But it construes the fourteenth amendment very plainly and this one fact lends aid in solving the whole land question, which may bob up again. But we know this: we can rely upon the impartiality and the justice of American courts.

As regards an international solution of the Japanese problem, as pointed out by Chief Justice Shaw, some more opportune time will arise for its discussion. We only hope that our diplomats will not mix political and judicial questions and invite the laughter of American statesmen.

Folly in Siberia.

The following is a translation of an editorial published recently in Nichi Nichi, one of Japan's leading newspapers:

JAPAN STILL RETAINS a big army consisting of two divisions in Siberia.

Ambassador Shidehara promised the withdrawal of troops at the Washington Conference, but we cannot imagine when the withdrawal will be made. If the object of Japan's expedition to Siberia lies in the assistance of Czecho-Slovaks, her object has been accomplished and she ought to carry out the evacuation simultaneously with America to show the Powers the absence of designs on the Siberian territory. Notwithstanding this the government still fails to withdraw and moreover continues inconclusive negotiations with the Chita government, which lacks sincerity and possesses no authority for concluding treaties.

The recent Spaskaya affair occurred in course of negotiations and resulted in many killed and wounded. We cannot but express our sympathy with the victims of the accident who were perhaps ignorant of the object of their fighting with Bolsheviks.

The Japanese people took exception to the Siberian expedition from the start in view of the lack of danger threatening Japan and also for fear of the future relations of Japan and Russia being spoiled. The government is also awake to the foolish policy of retaining the troops. Foreign critics entertain an opinion that the government hesitation is caused through the opposition of the military clique, with particular reference to the general staff office.

We do not know whether the military clique has power to dominate Japan's foreign policy but it is undeniable that they are often made the butt of severe criticism for misguiding Japan's policy

The government should put a stop to the Dairen parley and carry out the withdrawal. It devolves upon Russia herself to maintain order in Siberia and Japan stands in no need of rendering her support in restoring peace by bloodshed. The Japanese people should absolutely oppose armed interference in Siberia but render assistance to the Russian restoration by peaceful measures. The restoration of peace and order in Siberia is next to impossible and in these circumstances it is the height of folly to retain the troops at an enormous expense, which must be borne by the people at large.

America's Policy in Japan.

WHEN MR. HAY, secretary of state, sent a note to the Powers concerned in 1900 stating that the territorial existence and administrative integrity of China should be secured and that the Powers are entitled to fair and equal treatment commercially in any part of China, he prophesied that any country which understood China socially, politically, economically, and religiously will hold the key of world policy for the coming five hundred years.

The Hay doctrine is regarded as the second Monroe doctrine and America's policy toward China has become firm and indomitable since. American activity in China is becoming keener yearly and her export trade with Asia has markedly increased since the issue of the Hay note. The export value amounted to $770,000,000 in 1920, in striking contrast with $65,000,000 in 1900. The American people think their prosperous trade with China "a drop in the bucket," and state that the present purchasing power of China is nothing but that of nine million people residing at fourteen open ports and falls far short of the purchasing power of four hundred million people.

Mr. Lamont is of opinion that there is no room for argument that if China were exploited by American business men and investors in an appropriate manner the country would become the largest accumulating and distributing market for American manufactures and that in order to do this an extensive railway construction must be undertaken.

American steel and other iron materials and machinery must be supplied to a considerable amount. Americans intend not only to make China a market for American commodities but to transfer American industry to China, and thereby Americanize China industrially, utilizing cheap materials, land, houses, labor, and taxes in China.

An American financial magazine laid emphasis on the fact that in the event of American industry being established in China all other foreign commodities can be ousted by American goods owing to a low cost of production and that the markets in the Near East, Siberia, Russia, India, Australia, South Africa, and the Philippines can be brought under American command by cheap freight.

The American policy of Americanizing China industrially is strictly held by the successive governments but Japan's geographical propinquity and advantage to China stand in the way of America. The open door and equal opportunity are fair in name but the application of the principle to a rich and poor country will result in unfairness.

In these circumstances, minor details of the Hay declaration were discussed at the Washington Conference and some influential British critics went to the length of arguing that the above means a marked development of American policy toward China, overshadowing the Japanese development in China, and that such being the case the armament limitation and the Quadruple Treaty hardly mean a safe solution of Oriental problems.

BURTON HOLMES IN JAPAN.

MR. BURTON HOLMES, traveler, lecturer and writer, the man who can lay claim, with considerable right, to having seen more of the world, especially of its hidden and out-of-the-way places, than any other person, is again in Japan after an absence of five years, says the Japan Advertiser, and declares that he is overjoyed again to visit the Land of Cherry Blossoms where, as he says, "A man may get a drink without being poisoned or pinched."

Mr. Holmes' trip to Japan this time is not to obtain new material for a "travelogue," but to give him opportunitiy to prepare a series of illustrations for a new edition of the works of Lafcadio Hearn. Mr. Holmes plans to remain in Yokohama and then go to Matsue and Oki Island, and other parts of Japan, off the beaten track of travel but which are mentioned frequently in Hearn's works. The distinguished traveler is enthusiastic over his commission from the Houghton, Mifflin Company to prepare the pictures, and has spent several months in studying Hearn's writings and in marking various passages which, in Mr. Holmes' opinion, lend themselves well to illustration.

EIGHTH VISIT TO JAPAN.

"Of all the countries I have visited from one end of the world to the other, Japan appeals to me most of all," Mr. Holmes said. "It was the first foreign country I ever visited when as a young man in 1892 I left my old home in Chicago to see some other parts of the world. I came to Japan and spent the summer here and ever since that time Japan has exercised a potent influence on me artistically, aesthetically and atmospherically."

Incidentally, it might be stated that Mr. Holmes has visited virtually every country in the world with the exception of South Africa, Madagascar and Persia, and expects to add them to his itinerary before he leaves the lecture and travel field. Mr. Holmes has visited Japan eight times, having made trips here in 1892, 1899, 1901, 1908, 1909, 1913, 1917 and his present visit. The visit here in 1901 followed a long trip across Siberia to Vladivostok, while his 1909 trip was a part of his journey around the world.

Mr. Holmes has noted great strides of Japan toward the adoption of Western ways compared with conditions he found when he arrived first at Yokohama in 1892. At that time, Mr. Holmes recalled, the present harbor work did not exist and passengers debarked from the steamers into lighters and then were brought ashore.

The "artistic, aesthetic and atmospheric" influence of Japan on Mr. Holmes is clearly marked by the interior decorative work which he has called into play in his two-floor apartment at No. 2 West Sixty-seventh street, New York, an apartment building which, in the words of Town Topics, is the "only East Side apartment on the West Side," the epigram being in reference to supposed social prominence of folk living on the East Side. Mr. Holmes' studio and living rooms form veritable treasure houses of Japanese and Chinese art objects with the Japanese motif predominating. His studio was designed by Mr. Iwahiko Tsumanuma, noted Japanese architect of New York City, who has been called on to design some of the most modern buildings in Japan. The studio is modeled after the Japanese temple of Horiu-ji near Nara and is one of the centers of interest for the artistic and dramatic colony of New York City. The ceiling is designed in similar fashion to the ceiling in the Horiu-ji, and prominent in the room is a wonderful *norimono*, or feudal sedan chair of a *daimyo* of Satsuma. The bookcases have been adapted from Chinese blackwood screens.

A beautful wall frieze illustrating a panorama on the Yangtze River is used in Mr. Holmes' library, and in one of the bed rooms is a Japanese frieze showing a *matsuri* procession. Other sleeping rooms are furnished with *tansu*, or Japanese chests of drawers. The dining room is furnished with Chinese furniture or caromandal screens. The decorative effects mentioned are only a few of those which Mr. Holmes has employed in his apartments which the unique style of decoration and the great value of many of the curios, make the center of attraction for many lovers of the Orient and the artistic who visit New York.

PUBLISHES WEEKLY FILM.

Mr. Holmes endeavors to subordinate his talent as an interior decorator to that of lecturer, traveler and writer, although during his first day in Yokohama he expended several hundred yen in adding to his already noteworthy collection of art objects. He has just completed his fourteenth book on travel subjects, and publishes each week a travel motion picture film of 1,000 feet with a different country for a subject each week. The travel film has been published for 308 successive weeks, which is believed to be a record in travel film production. The old travel films are edited and revised and now are being used extensively in educational work.

Mr. Holmes is lecturing constantly while in the United States, his travelogues being a recognized form of public entertainment. He has delivered 4500 lectures since beginning as an amateur in 1892, and has greatly enlarged the field first opened by Mr. John L. Stoddard, noted American travel lecturer of a generation ago.

CONFUCIUS' TOMB FUNDS MISAPPROPRIATED.

STRICT measures are expected from the governor of Shantung, China's "Holy Land," to prevent the further squandering of state funds set aside for the care and upkeep of the tomb of the sage whom all China reveres—Confucius.

The widow of Duke Kung and the oldest living direct descendant of the great sage is charged by her son, Kung Hsien-pei, and others with appropriating these funds for her private use. The funds come from the government and are intended for the care of Confucius' tomb.

In addition to this, there has been a large annual revenue granted the family of the sage throughout the many dynasties that have come and gone in China since his death in order that they may maintain themselves in keeping with the great name they bear. In a country of ancestor worship, it is not peculiar that the descendants of Confuctus should be set apart to worship and care for his shrine. The title of duke, as well as the annual revenue, is the gift of the government.

THE STIRRING BATTLES OF KOKUSENYA.

By Chikamatsu Monzayemon.

CONTINUED FROM LAST SATURDAY.

CHAPTER V.

KOKUSENYA'S MOTHER was conducted into the castle and Lady Kinsho took her into her boudoir, where she welcomed the old woman warmly. She was shown as much consideration and tenderness as though she had been Kinsho's own mother.

It was not long before General Kanki's return was announced. He was in high spirits. For he had been promoted that very day to the command of a cavalry division of 100,000 men, been made a councilor of state and raised to the peerage.

Kinsho met her lord with great reverence, greeted him tenderly, and related to him all that had occurred. She did not omit to give a complete account of how her father, stepmother and stepbrother had come all the way from Japan to ask a favor of him. But, said she, in accordance with the royal command she had bidden her father and brother go away and had admitted the old lady only after the latter had been securely bound.

Praising his wife's thoughtfulness, the general declared he would see his mother-in-law without delay. She was brought into his apartment. He expressed great joy at meting her and told her that he greatly regretted that it had been necessary to bind her as though she had been a prisoner.

"And now, madam, what can I do for you?" he asked kindly. "Speak, and hold nothing back from me. I shall do everything in my power for you, even to the giving of half of my estate."

OLD MOTHER OVERJOYED.

The old lady was overjoyed at this gallant little speech and thanked her son-in-law profusely. She related how the Princess Sendan had drifted to Japan during the previous winter, and how Kokusenya and Tei Shiryo had determined to strike for the Ming dynasty. She concluded by earnestly entreating General Kanki to espouse their cause.

"What!" cried Kanki, "is Kokusenya of Japan my wife's brother? He is honored and respected throughout China for his bravery. I formerly was in the service of the Ming emperor, but when he died I became a retainer of the Khan of Tartary. Now I am lord of a province and I hold this castle under his suzerainty. I understand your request and sympathize with it fully, but I must take time to think this proposition over."

"Faugh!" cried the old woman, "you are a coward. "Your answer, no mater what it may be, will be bruited abroad. Whether you grant our request or refuse it, you must give us an immediate reply."

"Then, madame, I shall side with Kokusenya."

The general seized his wife, drew his sword and tried to plunge it into Kinsho's breast. But the old woman, almost overcome with horror and amazement, sprang to her feet and threw herself between the general and her stepdaughter.

"Are you bereft of your senses?" she cried. "Why do you wish to kill Kinsho before her mother?" Turning to the poor lady, she cried: "Fear not, daughter; no harm shall befall you so long as I am here."

Kinsho was sobbing. "Oh, mother! mother! You must not be wounded for my poor sake."

KANKI'S NEW TRUST.

The general seemed to return to his senses as suddenly as he appeared to have gone mad. "Pardon me for my rash act, but, if you must know the truth, the Khan of Tartary summoned me to him yesterday and said: 'Word reached me yesterday that a warrior named Kokusenya has come over from Japan with the intention of restoring the Ming dynasty. You are commanded to proceed against him with 100,000 horse.'

"Not knowing that Kokusenya was my brother-in-law, I readily vowed to kill him and thus rid the king of all trouble and anxiety from that source. But in the event that I suddenly joined forces with Kokusenya and raised the standard of revolt, it will be said on all sides that I have listened to the counsel of a woman, that I have been swayed by my wife, and I would go down in history as the laughing stock of all the nation. All the honors I have gained as a warrior would be swept away in a trice. Wherefore, even though the deed is cruel and bloody, I have determined to kill my wife. All ground for censure would by that act be removed. Having done that, I shall espouse the cause of Kokusenya.

"My dearest wife, it is the loyalty in which I hold the memory of the late Emperor that prompts me to this determination to slay you, but I am prompted by your mother's kindness to alter my determination."

Tears coursed down the general's cheeks.

ACID TEST OF LOYALTY.

"It cuts me to the heart to make such a terrible request, but, my dearest wife, are you willing to sacrifice yourself and to lay down your life for the sake of my loyalty?"

Gradually it dawned upon Kinsho what her husband purposed to do.

"Well," she said, her mouth tight with a new determination, "I understand your reason, my beloved husband. Certes, I am willing to be put to death, if by that act I can be of some service to the Imperial House. Take my life, and that be your pleasure."

Gently pushing the old woman aside, she bared her breast to receive Kanki's sword. The mother, unable to use her hands because of the cords that bound them, seized Kinsho's sleeve in her teeth and dragged her away. Kanki made at his wife with the naked blade, but the old lady darted behind him, seized his garment in her teeth, and held him back.

Again Kinsho prepared to meet her fate, but the old mother, almost choked with grief, cried: "Stop! stop! If I allow you to kill Kinsho, all the world will say that a Japanese stepmother has allowed a Chinese stepdaughter to be slaughtered in cold blood on account of her hatred of the latter. Not I alone would be shamed, it would be a lasting disgrace to Japan. General, if you are determined to slay your wife your sword must drink deep of my blood also!"

TO BE CONCLUDED.

THE MOUNTAIN RECLUSES.

MOUNTAIN recluses are the Sennin. Many legends are woven about them. They have human form, but nevertheless are immortal, and adepts in the art of black magic.

The first great Japanese sennin was Yosho, born at Noto in 870 A. D. Just before he was born his mother had a dream in which she beheld herself swallowing the sun. This signified that her child would be endowed with miraculous power.

Yosho was studious and devout. He devoted most of his time to studying the "Lotus of the Law." He lived in extreme simplicity, reducing his daily diet in time to a single grain of millet a day. He left this old world at the age of thirty-one years, after having attained much supernatural power.

The student left his mantle suspended from the branch of a tree, together with a scroll bearing the words: "I bequeath my mantle to Emmei of Dogen-ji."

Emmei in due time became a sennin. Like his master, he was able to perform many marvels. Shortly after Yosho's disappearance his father fell seriously ill. He prayed fervently that he might see his beloved son once more. In reply to his supplications, Yosho's voice was overheard reciting the "Lotus of the Law." Having concluded his recitations, he said to his stricken father:

"If flowers shall be offered and incense burned on the eighteenth of every month, my spirit will descend and greet you, drawn by the perfume of the flowers and the blue smoke of the incense."

GREAT ARMY UNCALLED FOR

DR. SETSUREI MIYAKE, a distinguished scholar and publicist of Japan, writing in Chuo-Koron, asserts it is a great folly for Japan to maintain a huge standing army at enormous expense. A "new military conception," he asserts, is necessary if Japan is to keep pace with the times. When actually needed, he suggests, a civilian army such as the United States trained for the great war is preferable to a large standing army.

The extent of armaments any nation is justified in maintaining, Dr. Miyake declares, depends upon the strength of probable enemies. There was at one time good reason for the arming of twenty-one divisions by Japan, and good reason for her to keep adding to the size of her standing army. The foreign policies of Russia and Germany made necessary the utmost precaution on the part of Japan. But times have changed and there is no excuse for a great army now.

Nor are unsettled conditions in China a valid excuse for this nation's vast military organization. Even should the general trade with China be threatened by internal disturbances, Japan would find herself helpless in any single-handed attempt to restore order there and the vain attempt would lead all nations to suspect the intentions which prompted it.

The advantages of a large professional army in any case are so doubtful and the likelihood that preparedness for war will bring war so great that the course of wisdom seems to be reduction to the lowest possible point. Since the United States and Great Britain have adopted the policy of maintaining in time of peace only small armies, citizen soldiers have fought their battles. Though military experts may oppose the theory on which this policy is based, the fact is that the excellence of the citizen soldiers has been proved.

The spirit of soldiers in the volunteer armies of America and England is of a higher order than that prevailing where compulsory service is the rule. In the ranks of the volunteers is a feeling of duty and idealism that is lacking where absolute obedience is the only requirement.

Our people can be educated to serve their country of their own free will. There is no need to abandon the ideal that they would do so. To depend on the willingness of the people to obey their commanders in time of war is not the way of the military expert, but of military experts and their ways the world at last is tired.

THE KATADA HILLS WRESTLERS.

THERE is a beautiful lake in Omi province at the base of the Katada hills. During cloudy nights of early autumn a ball of fire emerges from the shore of the lake, which expands and contracts as it floats away toward the hills.

Rising to the height of a man, it reveals two shining faces and develops slowly into the torsos of two naked wrestlers, struggling furiously in a double stranglehold.

With its fierce combatants the ball of fire floats slowly away to a canyon in the Katada hills. So long as no one interferes with it, it is harmless, but it fiercely resents any effort to retard its progress.

There is a legend concerning this phenomenon which has it that a certain popular wrestler, who never had been thrown, waited at midnight for the coming of this ball of fire. It reached him finally and he attempted to drag it down by force. But, ignoring him, the luminous globe proceeded on its way serenely. As for the foolish wrestler, he was lifted bodily and thrown some distance.

SHICHISHI ITO.

"AMENDED Alien Land Law Held Invalid," says a headline. Yes, you can't fool the United States Constitution.

* * *

IT SEEMS that the California Japanophobes have discovered the Japanese issue was international and properly came under the jurisdiction of Washington.

* * *

THE ANTI-JAPANESE politicians of California have got another chance to boom themselves.

* * *

"WOMEN Boom Phelan for Governor." Pink tea party at Sacramento instead of at Washington, eh?

* * *

IF THE ECONOMIC CONFERENCE at Genoa continues to drag on as it is doing, it will be no more an economic conference, especially for Russians and Germans.

* * *

TOYKO REPORTS that dancing and playing ball are in vogue among Japanese school girls. It seems they are almost one hundred per cent Americans.

* * *

THE INDIANA NINE is losing every game to Waseda and Keio. They had better meet the Japanese girl teams on the diamond.

* * *

DOES ANYONE know what the Celestials are fighting for?

* * *

APPARENTLY the Chinese are imitating the favorite game of the Irish.

* * *

A MAN from Genoa once discovered America, but America hasn't discovered Europe in Genoa.

* * *

H. C. L. is still hovering around us, for the Nipponese song bird, Madame Tamaki Miura, was forced to pay income tax at Honolulu and struck a discordant note.

BILLBOARD MONOPOLY.

THE TOKYO municipal office is determined to monopolize the present advertising poster business with the object of eliminating many obnoxious advertisements which harm the beauty of the city, according to the Asahi. The advertising business is in vogue at present, and there is a keen competition in novelty advertiseing posters.

The municipal authorities complain that this tendency is damaging the natural beauty of the city, and has led to the decision to carry on advertising poster business by the municipal office. An appropriation of $23,000 for the purpose was approved recently, and twenty advertising towers and about 200 advertising boards will soon be established at various important places in the city. However, the authorities will see that these will be built in places which do not stand in the way of general traffic and in a manner that will not damage the beauty of the city.

By SOSEKI NATSUME.

(Translated by a Japanese Schoolboy.)

PEOPLES of the old fashion or style are wery particular about their etiquet.

"Please come hitherward," softly cries the guist pointing at the *tokonoma* to my hospitable master.

Some year agone master so presperiashous conceive idea that one can select seat any place or where in parlar, but since he hear that *tokonoma* were designed originally for the wisitor sent by the higher ups, or perhaps the messenger from a Shogun, he do not approach himself to *tokonoma*. On this particular occasion I are trying to descrive, my master so curious saw a strange elder man supplanting himself easily right there in front of *tokonoma* and so he didn't care to move up. He can't ever say "How do?" However, he make his head nodded silghtly and remark:

"Please take that place there over there." Thus he seemed to have repeated what the guest have told to him.

"But then I can't say greetings to you so please take that seat there right here."

"Why then—— Please take seat over there," master so diffident insist firmly but politely.

"How diffidence you are! I are so impressed. Please don't be so reserved and please go to it."

"Your so modest. I are afraid—please——"

LIKE BLUSHING GIRL.

Say master, getting his face scarlit all over and mermering within confines of his own mouth. His mental culture don't be seeming to do any good for him.

Mr. Meitei have been overlooking scene from rear or paper screen for some time, but now he thought it were just about a good time and so he pushed master so dumbfounded from back to frontward.

"Go ahead forward," he admonish. If you keep yourself so adheringly to paper screen, there ain't room or space sufficient for me left to sit myself down in. Don't be so modest but press yourself forward."

Meitei while saying this sandwiched himself into room. Master so helpless can't but slide in onward.

"Mister Kushami, this are my uncles from Suzuoka whose histoly I had repeated to you so oftenly. Uncle, ole dear, this are Missy Kushami."

There were no help for it now. They was introduced to each other. Must put on pleased appearance.

"I'm wery glad to meet up with you, I are sure. Meitei say as how you wisit so often and longed to meet you to listen in on your justly so celebrated lecture. I happened to pass near by today and just dropped in to pay my rispects and thank you for such a kindness you so often have shown my sweet nephew. Kindly remember me and I crave your farther acquaintance."

Speak the grand ancient guest to middle age master fluently.

CAT'S GOT HIS TONGUE.

Poor master have not so many friends to communcate with and he are just nacherally silent and he never met up with such a old man like this here all in his life and he got wery shy from the beginning and addressed by the old man so fluently seem to perplex if not to puzzle him. Now he forget all about Korea ginseng and that decorated enwelop he receive such short while ago. But to hide his ambarrassments he just shoot out disconnected and funny ejaculation.

"I—I—too wanted to pay a rispect to you—I beg of you to lend me your **further acquaintance."**

Merry master delbered his message thus and lift his head off the matt and found the old man still maintaining his head way down on the surface of the matt and master finding thing thus and so put his head way down again quick.

After imperturbable silence the old man lift his head up and say:

"I had the residunce in city here years aback and used to serve **to my master here years without number at a time but since the old feudal** sistem have gone out of style I went to Shizuoka and never came up to Tokyo at all. Now I don't know the direction of city, unless Meitei escorts me along, so I can carry my business.

"It were a great change but after Tokugawas controled the country and made this here city be their capital for three hundred year and that most respectful Shogun——"

MEITEI BUTTS IN.

Went on to this point when Meitei thought it going to be too bothersome and interrupted saying as follows:

"Uncle, dearie, maybe Shogun were great but Meiji era just as good or better maybe. They didn't have Red Crosses at time of Shogun, wasn't it so?"

"Yes, sure it wasn't. They didn't have no Red Crosses then. And the honor of contemplating of price are purely the privilege allowed in Meiji area. It are indeed a great fortune for me to live long enough to attend to the general meeting of Red Crosses, now that I have heard the prince speak and are ready to pass away over."

"It are to your great credick and adwantage just to glimpse great Tokyo. Mr. Kushaimi, my sweet uncles came long way from Shizuoka to attend to a general meeting of Red Crosses and we went to Ueno and now we are on our way back."

That are why he are wearing the stilish frock coat but it don't hardly seem to comform to his boddy at all. The sleeve seem to be too long on each arm. The front part are wide open, they are a great festoon on back, the side of chist are too tight. Nobody can achieve such misfitting as this, even if skillful taylor try to do it.

Moreover and furthermore the white shirt and whiter waistee are not acting in consonance but rather independently of one another and if he tip or tilt his face heavenwards one can seem to see wide expansion of throat.

MUST MAKE ALLOWANCES.

It are not at all clear whether black necktie belong to neck or it belong to shirts. We may ignore about misfitting frocks coat but his white topknot are in plain view.

I noticed the so much gossiped about iron fan and found it dangling right beside his knee.

Irreverent master came to himself and make observation about the garb of this wenerable gentleman in regard to spiritual training and were altogether surprised. He thought that what Meitei used to complain about the old man his sweetest uncle were a great exageration from the truth, but now he find the truth were more surprising than he have any idea from all this talk he have listened to before from Meitei. Suppose master's pock marks were historical material, then the knot tie of this old gent's tie and his iron fan have much more value than that.

Master wished to know the legend of the iron fan but at the same time he entertain hesitation about making the direct question.

SEE EXPLANATION NEXT SATERDY.